

**遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成23年度実施事業)**

平成24年12月

遠野市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	教育委員会の活動	1
	(1) 遠野市教育委員会委員名簿	1
	(2) 教育委員会の会議の開催状況	2
	(3) 教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
	ア 教育委員会定例会・臨時会	2
	イ 教育委員会委員協議会	5
	(4) 教育委員会の会議以外の活動状況	5
3	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価	8
	(1) 政策別実施事業の成果と課題	9
	ア 健康づくりの推進	9
	イ ふるさと教育の推進	10
	ウ 生涯学習の推進	21
	エ ふるさとの文化の継承・創造	23
	(2) 平成23年度に実施した事務事業の点検及び評価	23
	ア 点検及び評価の概要	23
	イ 総合計画後期基本計画まちづくり指標の点検及び評価	24
	ウ 平成23年度に実施した93事務事業の点検及び評価	25
	エ 外部評価の結果	25

資料編

- 【資料1】 平成23年度総合計画後期基本計画まちづくり指標
(教育委員会19指標) 実績一覧表
- 【資料2】 平成23年度事務事業成果説明書(教育委員会93事務事業)

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第27条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

この報告書は、遠野市教育委員会が平成23年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、この報告書では、平成24年 9 月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第 233条第 5 項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類」のうち教育委員会に係る部分についても、抽出して取りまとめています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

- 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動

(1) 遠野市教育委員会委員名簿

（平成22年11月26日から平成23年11月25日まで）

職 名	氏 名
委 員 長	似 内 宏 和
委員長職務代理者	佐々木 るみ子
委 員	角 田 直 樹
委 員	三 浦 芳 昌
委員（教育長）	藤 澤 俊 明

（平成23年11月26日から平成24年11月25日まで）

職 名	氏 名
委 員 長	似 内 宏 和
委員長職務代理者	角 田 直 樹
委 員	三 浦 芳 昌
委 員	馬 場 明 子
委員（教育長）	藤 澤 俊 明

(2) 教育委員会の会議の開催状況

平成23年度は、教育委員会定例会を毎月1回（計12回）及び教育委員会臨時会を4回、合計16回の会議を開催しました。

また、会議に付議すべき議案の事前審議その他研究協議を行うため、委員協議会を1回開催しました。

(3) 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

ア 教育委員会定例会・臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び遠野市教育長に対する事務委任規則（平成17年遠野市教育委員会規則第7号）第2条に規定する事項のうち、平成23年度において教育委員会定例会及び臨時会（16回の会議のうち14回）で審議した案件は、34件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	11
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	4
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	0
5	職員の人事異動の方針を定めること	3
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	7
7	附属機関の委員の任免に関すること	5
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	1
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		34

【平成23年度教育委員会会議議案一覧】

議案番号	件 名	提出日	決議	分類
平成23年4月定例会				
13	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成23年4月25日	可決	6
14	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成23年4月25日	承認	7
15	遠野市就学指導委員会委員の任免に関し議決を求めることについて	平成23年4月25日	可決	7

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成23年 5月定例会				
16	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成23年 5月27日	承認	7
平成23年 6月定例会				
17	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成23年 6月28日	可決	2
18	遠野市学校給食運営審議会委員の委嘱に関し議決を求め ることについて	平成23年 6月28日	可決	7
平成23年 7月臨時会				
19	教職員の人事異動の内申に関し議決を求めることにつ いて	平成23年 7月6日	可決	6
平成23年 7月定例会				
20	教育委員会事務局職員等の人事の臨時専決処理に関し承 認を求めることについて	平成23年 7月29日	承認	6
21	遠野市体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則 の制定について	平成23年 7月29日	可決	2
22	平成24年度使用中学校教科用図書採択に関し議決を求 めることについて	平成23年 7月29日	可決	3
23	遠野市指定有形民俗文化財の指定に関し議決を求めると について	平成23年 7月29日	可決	8
平成23年 8月定例会				
24	平成23年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を 求めることについて	平成23年 8月26日	可決	9
平成23年 9月定例会				
25	平成23年10月1日付け定期人事異動の基準等（事務局職 員等）の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成23年 9月28日	承認	5
26	教育委員会事務局職員等の人事の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて	平成23年 9月28日	承認	6
27	遠野市就学指導委員会委員の委嘱に関し議決を求めると について	平成23年 9月28日	可決	7
平成23年10月定例会				
28	平成24年度遠野市小中学校教職員の定期人事異動方針に 関し議決を求めることについて	平成23年 10月28日	可決	5
平成23年12月定例会				
29	教育委員会事務局職員等の人事の臨時専決処理に関し承認 を求めることについて	平成23年 12月21日	承認	6
30	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の 状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることにつ いて	平成23年 12月21日	可決	10

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成24年 1月定例会				
1	平成24年 4月 1日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成24年 1月27日	可決	5
平成24年 2月定例会				
2	遠野市立学校の廃止に関し議決を求めることについて	平成24年 2月13日	可決	3
3	遠野市立学校の設置に関し議決を求めることについて	平成24年 2月13日	可決	3
4	遠野市教育研究所の位置の変更に関し議決を求めることについて	平成24年 2月13日	可決	3
5	平成24年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	平成24年 2月13日	可決	1
平成24年 2月臨時会				
6	平成24年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成24年 2月20日	可決	6
平成24年 3月臨時会				
7	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年 3月19日	可決	2
8	遠野市教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年 3月19日	可決	2
9	遠野市教育委員会の権限に属する事務の一部の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年 3月19日	可決	2
10	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定について	平成24年 3月19日	可決	2
11	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	平成24年 3月19日	可決	2
12	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成24年 3月19日	可決	6
平成24年 3月定例会				
13	遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年 3月22日	可決	2
14	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年 3月22日	可決	2
15	遠野市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年 3月22日	可決	2
16	遠野市教育委員会事務局職員等被服貸与規程の一部を改正する訓令の制定について	平成24年 3月22日	可決	2

イ 教育委員会委員協議会

委員協議会では、主要な施策、事業等の内容や実施状況に関する報告、説明及び協議を行いました。平成23年度の協議件数は、1件です。

番号	件名	協議日
1	遠野市立中学校再編成により新たに設置する中学校の名称について	平成24年1月27日

(4) 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の委員は、上記の会議のほか、以下のとおり各種行事等に出席しました。

市議会

- ・本会議（委員長及び教育長）
- ・予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）

学校訪問

- ・学校懇談会（5月：遠野中学校、11月：宮守中学校）
- ・学校公開研究会（10月：附馬牛小学校、附馬牛中学校）
- ・遠野旬を食べよう給食（6月～8月及び10月～12月、計6回）

中学校再編成

- ・遠野市学校づくり協議会（6月、8月、10月、12月、平成24年1月）
- ・遠野市学校づくり協議会学区部会（4月、7月、10月、11月、12月、平成24年2月）

東日本大震災に係る後方支援活動等

- ・災害対策本部、後方支援活動本部及び後方支援連携会議（教育長）
- ・遠野市防災会議（5月）
- ・陸上自衛隊第9師団遠野派遣部隊活動報告会（6月）
- ・文化による復興支援シンポジウム（6月）
- ・文化による復興支援シンポジウム in 東京（9月）
- ・青年海外協力協会「JOC A っぱハウス」開設式（10月）
- ・災害復興に係るシンポジウム（12月）
- ・東日本大震災後方支援の集い（平成24年3月）
- ・寄附採納式、視察等への対応

各種行事等（主なもの）

- ・平成23年4月1日付け教育委員会定期人事異動辞令交付式（4月）
- ・小・中学校新任教職員及び転任教職員着任式（4月）

- ・小・中学校入学式（４月）
- ・遠野市生徒指導推進協議会総会（５月）
- ・就学指導委員会（５月、１０月、１１月）
- ・遠野の高校教育を考える懇話会（５月）
- ・小・中学校運動会（５月）
- ・遠野市中学校総合体育大会（６月）
- ・JFAこころのプロジェクト - 遠野わらすっこ「夢の教室」（６月、８月、９月、１０月、１１月）
- ・平成・南部藩寺子屋交流事業（青森県八戸市・七戸町との児童交流）（７月、８月）
- ・小学校水泳記録会（７月）
- ・中学校総合体育大会水泳競技（７月）
- ・ふるさと学校体験留学（８月）
- ・中学校総合体育大会陸上競技（８月）
- ・遠野市中学校駅伝競走大会（９月）
- ・中学校総合体育大会新人大会（９月）
- ・遠野地区中学校文化連盟発足10周年記念演劇鑑賞「アテルイ」（９月）
- ・小学校陸上記録会（９月）
- ・教育委員会勤続功労者表彰式（９月）
- ・東京都武蔵野市児童交流（１０月）
- ・熊本県菊池市との中学生テレビ会議（１０月）
- ・小学校学習発表会・文化祭（１０月、１１月）
- ・遠野市民芸術祭（１０月、１１月）
- ・小学校音楽祭（１０月）
- ・遠野地区中学校総合文化祭（１１月）
- ・遠野少年少女合唱隊発表会（１１月）
- ・遠野市民センターバレエスタジオ発表会（１１月）
- ・教育委員会委員辞令交付式・退任委員への感謝状贈呈式（１１月）
- ・成人式「はたちのつどい」（平成24年１月）
- ・教育研究所教育研究発表会（平成24年１月）
- ・中学生海外派遣団出発式（平成24年１月）
- ・地域で子どもを育てる活動発表会（平成24年１月）
- ・環境・科学研究発表会（平成24年２月）
- ・中学生海外派遣団帰国報告会・青年海外協力隊帰国報告会（平成24年２月）
- ・第37回遠野物語ファンタジー「お父恋し吹雪の夜」（平成24年２月）
- ・特別支援教育研究会卒業進級を祝う会（平成24年２月）
- ・小・中学校卒業証書授与式（平成24年３月）
- ・教育委員会退職者辞令交付式（平成24年３月）

その他の行事（主なもの）

- ・岩手県民体育大会遠野市選手団結団式（6月）
- ・A・E・L音工房コンサート（6月）
- ・落語東西二人会「春風亭昇太&桂雀三郎」（7月）
- ・岩手県民体育大会空手道競技（7月）
- ・岩手県立花巻清風支援学校遠野分教室中学部設置に係る連絡調整会議（7月、9月、11月）
- ・遠野市老人クラブ連合会さわやかスポーツ大会（7月）
- ・遠野わらすっこまつり（7月）
- ・遠野まぬけ節フェスティバル（8月）
- ・武蔵野市家族ふれあい自然体験in遠野（8月）
- ・愛知県大府市との小学生都市間交流（8月）
- ・遠野高等学校創立110周年記念式典（8月）
- ・遠野じんぎすかんマラソン（8月）
- ・わたしの主張遠野地区大会（8月）
- ・ジュニアサッカーレベルアップ事業「城彰二講演会」（8月）
- ・遠野市消防団水防訓練（9月）
- ・日本のふるさと遠野まつり（9月）
- ・遠野市市制施行6周年記念功労者表彰式（10月）
- ・八戸市ふるさと・大館新田城まつり（10月）
- ・遠野市民センター開館40周年記念事業 東宝演劇「ゲゲゲの女房」公演（10月）
- ・（株）遠野テレビ開局10周年記念セレモニー（10月）
- ・遠野聖光幼稚園創立90周年記念礼拝（10月）
- ・JFAキリンスマイルフィールド（10月）
- ・遠野文化フォーラム（11月）
- ・遠野市老人クラブ連合会シルバー文化祭（11月）
- ・ジャズピアニスト椎名豊氏とのふれあいコンサート（11月）
- ・財団法人遠野市教育文化振興財団顕賞式及び遠野市体育協会栄賞表彰式（平成24年1月）
- ・遠野市民新年交賀会（平成24年1月）
- ・消防出初式（平成24年1月）
- ・三世代で楽しむ将棋教室・新春ふれあい囲碁・将棋大会（平成24年1月）
- ・「とすぽ」大学祭「心も体もホット！スポーツの集い」・フィットネスダンスフェスティバルin遠野（平成24年1月）
- ・岩手県立花巻清風支援学校遠野分教室中学部開設に係る地域説明会（平成24年2月）

3 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価

遠野市教育委員会は、遠野市の行政の基本方針である「遠野市総合計画後期基本計画」（平成22年11月策定）に基づき、教育行政を推進しています。

教育委員会は、下図に示す「遠野市総合計画後期基本計画」の体系において、2つの大綱及び4つの政策にかかわっています。

この4つの政策ごとに、平成23年度における実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画後期基本計画体系図】

基本理念 「遠野スタイルの創造」

将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策	
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり		
	2 快適な居住環境の形成		
	3 道路交通基盤の充実		
	4 安心安全な地域づくり		
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進（スポーツ）	
	2 地域福祉の充実	2 医療体制の充実	
	3 子育て支援の推進		
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興		
	2 商工業の振興		
	3 観光と交流のまちづくり		
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実	
		2 学校教育の充実	
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実	
		2 芸術文化活動の推進	
	3 ふるさとの文化の継承・創造		1 郷土文化の保存と活用
			2 文化財の保存と継承
		3 郷土の文化を生かした地域創造	
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり		
	2 行財政基盤の強化		
	3 行政サービスの向上		

(1) 政策別実施事業の成果と課題

ア 健康づくりの推進

総括

- ・ 子どもから高齢者まで幅広い世代の市民一人一人が、身近な施設を拠点として、生涯にわたって日常的にスポーツに親しむことのできる健康・生涯スポーツ社会の実現を目指し、各種スポーツ教室の実施、学校体育施設の開放、市体育協会との連携による各種市民スポーツ大会の開催など、生涯スポーツの普及及び振興に努めました。
- ・ 市民の健康づくり活動においては、遠野市健康づくり総合プログラムを実践するため、「健康と交流」をキーワードに、保健・生涯学習・スポーツが連携し、遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」の本校（市民センター）及びサテライト校（各地区センター）において、健康づくりやスポーツに関する教室、講座等を多数開催しました。
- ・ 経験豊かな指導者を講師としてサッカー教室を開催し、ジュニアスポーツの競技力の向上に努めるとともに、「早寝・早起き・朝ごはん運動」及びチャレンジ徒歩通学を継続して実施し、子どもの生活習慣の改善や体力の向上に努めました。また、「キッズ元気アップ応援隊」を実施し、就学前の幼児の体力及び運動能力の向上に努めました。

成果と課題

事業	成果	課題
健康づくり活動の推進		
健康スポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」の本校及びサテライト校で各種プログラムを実施するとともに、ICTを活用した健康相談を行うなど、市民が年間を通して積極的に健康づくり活動に参加することができる環境を整えたことにより、継続して健康づくり活動に参加する市民が増えている。 本校...スポーツ教室72回実施、延べ 2,340人参加 サテライト校... スポーツ教室 108回実施、延べ 1,580人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ教室への参加者を増やすための取組をさらに充実させていく必要がある。 ・ ICTを活用した健康づくり教室について、さらに新規参加者の拡大を図っていく必要がある。
子どもの体力向上プログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進するとともに、チャレンジ徒歩通学を継続して実施したことにより、児童の生活習慣は改善傾向にある。 ・ 「キッズ元気アップ応援隊」を実施したことにより、小学校就学前の幼児に様々な運動を体験させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの体力の向上のため、学校、地域、保護者、行政等が連携し、さらに取組を推進していく必要がある。

事業	成果	課題
スポーツ振興		
競技・イベントスポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室やスポーツイベントの開催及び支援を行い、スポーツの振興と普及に寄与した。 市体育協会、スポーツ少年団等の活動を支援するとともに、関係団体と連携して各種スポーツ大会等を開催し、競技力の向上に努めた。 8月に開催した遠野じんぎすかんマラソンを東日本大震災被災地復興支援チャリティー大会として位置付け、参加費の一部を義援金として被災地に寄付する等の取組を行った。 	遠野じんぎすかんマラソンなど各種スポーツイベントへの参加者をさらに増やすため、ピーアールなどの取組を充実させていく必要がある。
ジュニアレベルアッププログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> トップレベルの指導者を招へいし、サッカースポーツ少年団、中学校・高校サッカー部を対象としたサッカー教室を開催し、ジュニアスポーツの競技力の向上を図った。 基礎体力や運動能力の向上を目的に、指導者及び競技者を対象としたトレーニング方法や健康管理に関する講習会を開催した。 	競技力の向上を推進するため、学校スポーツと社会スポーツとの連携をさらに強めていく必要がある。
岩手国体施設整備調査事業	平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会サッカー競技（少年の部）の会場整備に当たり、平成23年度に整備方針を策定する予定であったが、東日本大震災の発生及びその影響により、策定を延期した。	施設整備方針を早急に策定するとともに、整備に係る検討を継続していく必要がある。

イ ふるさと教育の推進

(7) 就学前教育の充実

総括

- 子どもの権利を尊重し、健やかな育ちを支援することを目的に制定した「遠野市わらすっこ条例」（平成21年4月1日施行）に基づき、子育てに関する取組を推進するため、市子育て総合支援センターにおいて、少子化対策及び子育て支援に関する総合的な施策の推進を図るとともに、市立保育所及び幼稚園の相互の補完により、地域の実情に即した教育と保育との一体化を図りました。
- 宮守町内の市立保育所・幼稚園においては、人間形成の上で大きな影響を持つといわれる幼児期における発達段階に応じた環境づくりに努め、保育所・幼稚園それぞれの機能を大切にしながら、相互の長所を取り入れ、補完しあい、保育所を利用する児童及び幼稚園に通園する園児の年齢ごとの保育・教育プログラムを作成し、運動環境等に配慮しながら、地域の実情に即した幼児教育に努めました。

成果と課題

事業	成果	課題
幼児教育・保育の向上	宮守町内の高齢者施設・身体障がい者支援施設の訪問、町内の高齢者との交流、中学生の体験学習やボランティアの受入れ等を行うことで、園児の情操教育の向上や世代間交流を図ることができた。	訪問・受入れともに、実施時期や感染症の有無の事前調査等について配慮する必要がある。
	・園児と小学生との交流を行い、幼稚園及び小学校の相互連携を図った。 ・小学校教諭と幼稚園教諭等とが、保育参観や授業参観を相互に実施し、情報交換を行うことにより、互いの状況を把握し、小学校入学後における児童の円滑な指導につなげることができた。	今後も、就学前教育のあり方、指導の方向性等について学校側との協議や情報交換を行う場を設け、さらなる連携を図っていく必要がある。
	キッズ運動教室を開催したことにより、遊びを通して体を動かすことの楽しさを教えることができた。	幼児の体力を向上させるため、定期的に体を動かす機会を設ける必要がある。
	家庭菜園の実施、保育参観日を利用した給食の試食等を行い、園児の食育及び各家庭における食生活への意識を高めた。	食事の大切さを幼児に伝えるには、幼稚園・保育所における指導に加え、家庭の協力や意識づけが不可欠である。
	幼児教育に携わる幼稚園教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、年間を通じた研修を実施した。	今後も、教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、各種研修を実施し、研究を深める必要がある。
保育教育環境の整備	各市立幼稚園・保育所の修繕等を行い、幼児の教育環境の整備を図った。	各幼稚園・保育所の環境整備に係る短期的・長期的な計画が必要である。
芸術・文化活動	地域のまつり等への参加を通して、幼児が芸術・文化に触れるとともに、実際に携わる機会の確保に努めた。	今後も、幼児の情操教育の向上を図るため、優れた芸術・文化に触れる機会の確保に努める必要がある。

(イ) 学校教育の充実

総括

「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」を学校教育目標に掲げ、「学習や生活の基礎力の定着」「豊かな心の育成」「心身ともに健康でたくましい子どもの育成」の3つの視点のもと、「学力向上の推進」「特別支援教育の充実」「豊かな心を育む教育の推進」「特色ある学校づくりの推進」「学校経営の質的向上」の5つを取組の重点として、各学校との共通理解と相互連携のもと、各種事業を積極的に推進しました。

成果と課題

事業	成果	課題
学力向上の推進		
教育研究所	教科指導における課題の解決及び特別支援教育の充実を図るとともに、学校に還元することができる実践的な研究を行い、その成果を研究発表会において発表した。	各教科の重点的な研究をさらに充実させていく必要がある。
標準学力検査・学力向上事業	NRT（標準学力検査、4月実施）及び学習定着度調査（国：4月実施、県：10月実施）の結果を分析し、各校への助言・指導を行ったことで、各教科における学力の実態に基づいた指導が行われ、児童・生徒の基礎学力の定着を図る一助とすることができた。	これらの調査の結果に基づき、各学校において補充指導及び個別指導を充実させ、さらなる学力の向上につなげていく必要がある。
教育研究指定校事業	<ul style="list-style-type: none"> ・附馬牛小学校及び附馬牛中学校で学校公開研究会を開催するとともに、遠野小学校及び綾織小学校を研究校に指定した。 ・学校公開研究会の実施により、それぞれの研究の成果を他の小・中学校に還元することができた。 	<p>学校の自主性をより高めていく必要がある。</p> <p>また、研究成果を広く還元するためにも、参加体制について検討する必要がある。</p>
外国人講師招へい事業	小学校11校及び中学校8校に外国人講師2名を計466回派遣し、児童・生徒の英語力の向上及び国際理解教育の充実を図ることができた。	小学校5・6年において実施する外国語活動において、より一層外国人講師の活用を図る必要がある。
学校教育専門員配置事業及び指導主事の派遣	各校からの要望に応じて、学校教育専門員を41回、指導主事を159回派遣し、教師の授業力の向上及び校内研究の充実を図った。	学校教育専門員について算数・数学に限定せず、校内研究の進め方等においても活用を図る必要がある。
学力向上対策会議	校長、教務主任及び研究主任を対象として会議を3回開催した。各校の実態と課題に即した年間の「計画 実行 評価 見直し」のPDCAサイクルによる学力向上策が定着してきている。	市全体で共通して取り組むべき事項を設定する必要がある。
特別支援教育の充実		
特別支援教育及び適正な就学指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県立花巻清風支援学校遠野分教室、保育所・幼稚園、市保育協会、遠野健康福祉の里など関係機関との連携を図り、特別支援教育と就学指導の推進を図った。 ・幼児の適正な就学支援に向け、知能検査や各種教育相談を経て、就学指導委員会を3回開催した。 ・個別に支援を必要とする通常学級に在籍している児童のため、特別支援教育支援員を12名配置し、生活上・学習上の支援を行った。 ・別室登校など個別に支援を必要とする生徒の学校生活上の相談等を行うため、非常勤職員（ひかり相談員）を配置した。 	通常学級に在籍している特別な支援を必要とする児童・生徒についても、個別の指導計画を作成し、継続的な支援を行う体制を整えていく必要がある。

事業	成果	課題
豊かな心を育む教育の推進		
道徳地区公開講座	すべての小・中学校において、道徳の授業を保護者や地域の方々に公開し、児童・生徒の道徳心の向上を図ることができた。	今後も事業を継続し、児童・生徒の道徳心の向上を図っていく必要がある。
遠野わらすっこ「夢の教室」事業	公益財団法人日本サッカー協会が取り組む『JFAこころのプロジェクト「夢の教室」』（プロスポーツ選手等が夢を持つことの大切さや夢に向かって努力することの大切さを児童に語る授業を行う。）を小学5年生・6年生及び中学生を対象として計13回実施し、児童・生徒が自分の夢について真剣に考える機会を提供した。	児童・生徒の心身の健全な発達に資する事業として各学校に定着してきていることから、今後も事業を継続していく必要がある。
平成・南部藩寺子屋交流事業	市内小学校から25名の児童が参加し、受入・派遣交流を通じて、根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市、同七戸町の歴史や文化を学ぶとともに、両市町の児童との絆を深めることができた。	昭和62年度から継続して実施しているが、小学校の児童数が減少してきていることから、参加児童数の見直しについて検討していく必要がある。
文化行事奨励（小・中学校）事業	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校音楽祭、市内小・中学校作品展（絵画・書道）の実施により、児童・生徒の感性や情緒面の伸長に寄与することができた。 各小・中学校から推薦された作文等を、文集「遠野」にまとめ発行した。 東京都の国立劇場で開催された「文化による復興支援シンポジウム in 東京」において、遠野小学校の児童が「遠野の里の物語」を発表した。 	児童・生徒一人一人の作品の質をより高める指導のあり方について検討を重ねる必要がある。
体育行事奨励（小・中学校）事業	小学校体育協会及び中学校体育連盟が主催する地区大会の開催等に対する支援を行い、体育活動を通して小・中学生の健全育成に寄与した。	小・中学生の心身の健全育成を図るため、今後も支援を継続していく必要がある。
幼稚園・保育園・小学校交流会	幼稚園教諭、保育士及び小学校の教諭が相互の情報交換を行うため、全体で1回、また小学校区ごとに1回以上交流会を開催し、児童に対する教育の共通課題を確認するとともに、行動等について気になる点のある児童への指導のあり方について理解を深めることができた。	小学校区ごとに行っている交流会の内容を紹介するなど、交流のあり方についての情報交換の場が求められる。
特色ある学校づくり		
特色ある学校づくり事業	すべての小・中学校が、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かし、農業体験、郷土芸能などの地域理解学習に取り組んだことにより、学校、地域及び家庭の連携が図られるとともに、児童・生徒が自らの郷土に対する理解と愛着を深めることができた。	総合的な学習の時間に関し、年間指導計画の見直しを図ることが必要である。

事業	成果	課題
学校経営の質的向上		
学校懇談会	宮守中学校及び遠野中学校において懇談会を開催し、それぞれの学校の取組状況に関し、教育委員会委員及び事務局職員と学校の教職員とが意見交換を行った。	できる限り学校に負担がかからないような開催方法を検討する必要がある。
学校評価	すべての小・中学校において、教職員による内部評価及び保護者、児童生徒、学校関係者による外部評価を実施し、その結果をまとめ、公表した。	学校経営に外部評価の結果がより効果的にフィードバックされるよう、評価の方法等について、さらに見直しを図っていく必要がある。

(7) 教育環境の充実

総括

- ・ 中学生にとってよりよい教育環境を整備するため、「遠野市立中学校再編成計画」（平成22年8月31日決定）に基づき、平成25年4月1日に新たに設置する3校の中学校の校名を決定するとともに、新設中学校の校舎となる遠野中学校の改築整備に着手するなど、計画の着実な進行を図りました。
- ・ 平成18年度から取り組んできた遠野北小学校の校舎、屋内運動場等の一体的整備が完了するなど、児童・生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送るための施設環境の充実に努めるとともに、通学対策、教材の整備、教育費の支援など、質の高い教育を支える環境整備に継続して取り組みました。

成果と課題

事業	成果	課題
中学校再編成の推進		
中学校再編成の推進	<p>平成24年3月遠野市議会定例会において、遠野市立中学校再編成計画に基づき平成25年4月1日に新たに設置する3校の中学校の名称が決定するなど、計画の推進が図られた。</p> <p>新設中学校の名称</p> <p>平成24年3月遠野市議会定例会に遠野市立学校設置条例の一部改正案を提案し、全会一致で可決された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野市立遠野中学校（現在の遠野中の位置） ...遠野小、遠野北小、綾織小、附馬牛小の学区 ・ 遠野市立遠野東中学校（現在の青笹中の位置） ...土淵小、青笹小、上郷小の学区 ・ 遠野市立遠野西中学校（現在の宮守中の位置） ...小友小、宮守小、達首部小、鱒沢小の学区 	平成25年4月1日の新設中学校のスタートに向けて、学校づくり協議会及び学区部会の運営及び進行管理を徹底し、計画の確実な推進を図る。

	<p>学校づくり協議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校づくり協議会の開催 学校づくり協議会（5回） 遠野中・綾織中・附馬牛中学区部会（5回） 土淵中・青笹中・上郷中学区部会（4回） 小友中・宮守中学区部会（4回） 学校運営計画の協議を進めるため、3学区ごとに教職員による新設中学校運営計画案作成チームを組織し、検討を進めた。 <p>住民の参画</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい学校づくりに向けたアンケート調査（7月～8月） 校名の募集（9月） 応募数 840通 中学校再編成後の学校施設等の活用について検討する組織を各地区に設置（12月～平成24年1月） 閉校記念事業実行委員会を中学校単位で設置（平成24年1月） 新設中学校制服サンプル展示会（平成24年3月～4月） 	
<p>学校施設の整備</p>		
<p>綾織小学校改築整備事業</p>	<p>東日本大震災の発生により進捗に遅れが生じた旧校舎解体工事及び外構工事の完成を図るとともに、旧小学校のグラウンドを中学校の部活動等に活用するため拡張整備を行い、教育環境の向上に努めた。</p> <p>旧校舎解体工事（東日本大震災による平成22年度事故繰越）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度支出 5,530,100円（4月22日完成） <p>外構工事（東日本大震災による平成22年度事故繰越）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度支出 8,779,800円（5月20日完成） <p>旧小学校グラウンド拡張整備関連工事等12件</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費等 5,209,963円 <p>学びのプラットフォーム構想</p> <p>中学校施設を活用して、小学校、保育所、児童館のもつ子育て機能を集約させながら、高齢者が集う交流の場など、住民が世代を超えて交流を深めることができる一体的な環境の整備を図る構想。</p> <p>綾織地区においては、綾織小学校新校舎を綾織中学校に併設し、特別教室及び屋内運動場は中学校施設を共同利用する。</p>	<p>地域との連携のもと、「学びのプラットフォーム構想」の推進を図る。</p> <p>平成24年度においては、中学校改修に係る実施設計に着手する。</p>

事業	成果	課題
遠野北小学校整備事業	<p>職員室、給食搬入口の整備工事及びピオトープ（薬研沼）の移設工事が完成し、平成18年度から取り組んできた教育環境の一体的な整備が完了した。</p> <p>職員室・給食搬入口等整備工事 ・事業費 31,466,400円（平成24年3月25日完成） その他 薬研沼移設工事、設計業務委託及び工事監理業務委託</p>	平成18年度から取り組んできた教育環境の一体的な整備が完了した。
遠野小学校屋内運動場改築整備事業	<p>屋内運動場の改築に向け、地質調査及び基本設計を実施した。</p> <p>基本設計業務委託（平成22年度繰越事業） ・委託料 4,725,000円（平成24年3月25日完了） 地質調査業務委託（平成22年度繰越事業） ・委託料 1,576,050円（平成24年3月23日完了） 屋内運動場改築整備実施設計業務委託（平成23年12月補正、平成24年度に繰越し） ・予算額 16,525,000円 屋内運動場改築整備事業（平成24年2月補正、平成24年度に繰越し） ・予算額 267,869,000円（工事請負費、用地（806.56㎡）購入費等）</p>	土地区画整理事業における地権者の移転後の事業着手となることから、都市計画課との連携を強化し、事業の進行管理の徹底を図る。
遠野中学校改築整備事業	<p>生徒の安全安心な教育環境を確保するため、老朽化した校舎の改築に向けて工事に着手した。改築後の校舎は、再編成後の遠野中学校校舎として使用する。</p> <p>校舎改築設計業務委託（平成22年度繰越事業） ・委託料 53,550,000円（平成24年3月25日完了） 解体（第1期）工事 ・事業費 41,164,200円（10月31日完成） ・格技場、旧体育館、平屋特別教室棟の解体、樹木伐採等 下水道管布設替工事 ・事業費 8,102,850円（11月15日完成） 上水道配水管布設替工事 ・事業費 5,562,900円（12月2日完成） 改築附帯工事・業務委託（保健室等移設工事、仮設駐輪場・通学路設置工事、測量業務委託等20件） 10,174,000円 校舎（第1期）改築工事（平成23年度・平成24年度継続事業） ・契約額 1,134,000,000円 ・工期 平成23年12月12日から平成25年2月28日まで</p>	生徒の安全安心を確保しながら、工期内に第1期改築工事が遅滞なく完成するよう、事業の進行管理の徹底を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎面積5,674.42㎡（第1期改築分4,676.38㎡） 多目的ホール及び音楽室棟を除く校舎全体の83%の完成 ・木造及び鉄筋コンクリート造2階建て一部3階建て ・平成23年度支出 85,000,000円 ・平成24年度分 1,102,000,000円（平成24年2月補正、平成24年度に繰越し） <p>校舎（第1期）改築工事監理業務委託（平成23年度・平成24年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額 16,275,000円 ・契約期間 平成23年12月26日から平成25年3月13日まで ・平成23年度支出 1,350,000円 ・平成24年度分 15,600,000円（平成24年2月補正、平成24年度に繰越し） <p>西側拡張用地購入 購入費 72,756,500円（2,900.41㎡）</p>	
<p>青笹中学校増築整備事業</p>	<p>中学校再編成後の遠野東中学校の校舎となることから、不足する教室の増築及び改造等に向けて設計業務に着手した。</p> <p>増築等設計業務委託（平成24年度に繰越し）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額 11,550,000円 ・契約期間 平成24年1月30日から平成24年5月25日まで ・その他測量業務委託 <p>増築等整備事業（平成24年2月補正、平成24年度に繰越し）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算額 159,752,000円（工事請負費等） ・増築 300㎡、改造 335㎡、補修修繕工事等 	<p>生徒の安全安心を確保しながら、工期内に工事が遅滞なく完成するように、事業の進行管理の徹底を図る。</p>
<p>公共施設ロングライフ事業</p>	<p>学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、教育環境の整備を迅速かつ効率的に進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設 5,484,045円 ・中学校施設 2,963,100円 <p>（計 8,447,145円）</p>	<p>設備の保守点検や学校巡回、学校との連携を通して、施設の適切な維持管理に努める。</p>
<p>プール改修事業</p>	<p>老朽化したプール設備を改修し、教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。</p> <p>宮守小学校プールろ過器改修（更新）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 5,670,000円（平成24年1月18日完成） ・その他機械室床及び更衣室改修工事 <p>遠野中学校プール改修事業（平成23年12月補正、平成24年度に繰越し）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算額 17,347,000円 ・東日本大震災の影響と思われるプール配管設備の改修及び更新時期にあるろ過器装置の取替え 	<p>プール改修計画に基づき、老朽化したプールの改修等を着実に実施する。</p>

事業	成果	課題
公立学校施設災害復旧事業	<p>東日本大震災により被害を受けた学校施設の復旧に早急に対応し、児童・生徒の安全安心を確保した。</p> <p>予算額 28,710,000円（平成23年3月補正繰越分、平成23年6月補正分）</p> <p>遠野中学校復旧費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 18,741,410円 ・塔屋解体及びブレース設置、煙突撤去、内外壁改修、暖房設備改修等 <p>小学校施設復旧費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 5,992,560円（52件） <p>中学校施設復旧費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 3,868,515円（35件） 	
通学対策の充実		
通学対策費	<p>スクールバス等を運行し、遠距離から通学する児童・生徒の通学難の解消を図った。</p> <p>また、遠距離から徒歩で通学する児童・生徒に対して通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学バス等運行委託料、管理費等 バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス1台（事業費 21,098,779円） ・遠距離通学費補助金（通学距離4km以上） 32名（事業費 254,400円） <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学バス等運行委託料、管理費等 バス3台（事業費 7,516,357円） ・遠距離通学費補助金（通学距離6km以上） 25名（事業費 200,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校再編成に伴い、平成24年度にスクールバス、ワゴン車等を新たに15台取得する計画としている。 ・スクールバス等を住民利用に供する活用方策については、総合交通システムとの連携を図りながら検討を行うことが必要である。
教材の充実		
教材整備費	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、児童・生徒用のパーソナルコンピュータを借り上げるなど、学習環境の充実に努めた。 ・中学校においては、平成24年度からの武道の必修化に対応するため、柔道用マットを整備した。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、児童用図書、パソコン借上料、その他教材用消耗品等 38,967,132円 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、生徒用図書、パソコン借上料、その他教材用消耗品等 16,803,736円 	<p>児童・生徒が質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の充実を図る。</p>

事業	成果	課題
理科教育設備整備事業	<p>学習指導要領の改訂（小学校：平成23年度、中学校：平成24年度）に対応するため、平成21年度から継続して理科及び算数・数学に係る教育備品を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（3校） 993,520円 ・中学校（3校） 994,620円 	<p>児童・生徒が質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の充実を図る。</p>
教育費の支援		
私立幼稚園保育料助成事業	<p>私立幼稚園に就園する園児の保育料に対する助成を行い、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1子（基準額から5%軽減） 50名 ・第2子（基準額から10%軽減） 42名 ・第3子以降（月額4,800円） 14名 <p>計 106名（事業費 3,076,700円）</p>	<p>保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全運営の支援に努める。</p>
私立幼稚園就園奨励事業	<p>私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて、保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減するとともに、幼稚園教育の振興に資した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の園幼稚園55名、聖光幼稚園33名、その他2名（計90名 事業費 9,850,000円） 	
就学援助費	<p>経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>小学校：支給児童数 161名 （事業費 10,231,054円）</p> <p>中学校：支給生徒数 101名 （事業費 10,488,241円）</p>	<p>就学援助制度の周知徹底を図り、すべての児童・生徒が義務教育を円滑に受け取ることができるよう努める。</p>
奨学資金の貸付		
育英事業（貸付分）	<p>経済的な事由により修学が困難である優秀な学生83名に対して学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続大学生等 49名 ・新規大学生等 30名 ・継続高校生 3名 ・新規高校生 1名 <p>（事業費 38,520,000円）</p> <p>平成23年度決算時滞納額 8,004,300円</p>	<p>滞納額が増加している状況にあることから、長期滞納者については、保証人及び連帯保証人への償還要請を行い、未償還となっている貸付金の回収に一層努める必要がある。</p>
地域の高校教育のあり方に関する検討		
遠野の高校教育を考える懇話会	<p>岩手県が策定を進めている「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」に関する検討や、本市の実情に応じた高校教育のあり方に関する検討を行った。</p> <p>なお、「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」は、東日本大震災の被害及びその影響を踏まえ、策定が凍結されている状況である。</p>	<p>今後も、本市の実情に応じた高校教育のあり方に関し検討を進めていく。</p>

(I) 学校給食の充実

総括

- ・ 成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、豊かな人間形成等の目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全・安心でおいしい給食の提供に努めました。
- ・ 給食の食材には遠野産の食材を積極的に利用し、地産地消を推進するとともに、「遠野旬を食べよう給食」の実施により、郷土の食文化や地域で採れる農産物への理解を深めました。また、栄養教諭等が各学校を訪問して栄養指導を行ったほか、食事のマナー等の意識付けを推進しました。

成果と課題

事業	成果	課題
食育及び地産地消給食の推進	栄養バランスのとれた季節感のある給食を提供することができた。食材には遠野産の農産物を多く取り入れ、地場産物の使用割合を高め、消費の拡大を図った。 <ul style="list-style-type: none">・ 地場産物の使用割合 目標 65.0% 実績 65.3%・ 事業費 260,537,516円	冬期間における地場産の食材の確保が難しい。
	食育と地産地消を推進する活動の一環として、「遠野旬を食べよう給食」を実施し、遠野産の食材にこだわった給食を提供するとともに、農業生産者や給食センター職員が学校を訪問し、児童・生徒と食の大切さや地域の食文化等について語り合うことにより、児童・生徒が食に対する理解を深めることができた。 <ul style="list-style-type: none">・ 実施時期及び実施校 6月 鱒沢小学校、遠野中学校 7月 達首部小学校、土淵中学校 8月 遠野小学校、宮守中学校 10月 青笹小学校 11月 小友中学校 12月 附馬牛小学校、宮守小学校・ 事業費 1,799,442円	<ul style="list-style-type: none">・ 野菜等が不足する時期の献立について、内容の工夫を図る必要がある。・ 平成15年度から継続して実施している事業であることから、さらなる内容の充実を図る必要がある。
学校訪問及び栄養指導の推進	学校との連携を密にし、栄養教諭及び学校栄養職員が食育及び栄養に関する指導を行った。 <ul style="list-style-type: none">・ 遠野学校給食センター 各学校 年1回 学校訪問17回・ 宮守学校給食センター 各学級 年1回 学級訪問22回	給食センター施設の見学等も含めて、効果的な栄養指導のあり方を検討していく必要がある。
総合食育センターの整備	本市における食育と地産地消の拠点としての「総合食育センター」の整備工事の着手に向け、諸般の体制を整えた。	平成25年4月の供用開始に向け、整備工事が遅滞なく完成するよう、事業の進行管理の徹底を図る。

ウ 生涯学習の推進

総括

- ・ 「広報遠野」に定期的に掲載する「学びのいずみ」や市ホームページにより、市民への生涯学習情報の提供の一層の充実を図りながら、市民協働による学習講座を開催し、生涯学習の推進に努めるとともに、家庭教育ゼミナール等を実施し、家庭教育に関する学習の機会の提供を図りました。
- ・ 児童館、児童クラブ、小学校の教室及び地区センターを利用して「放課後子ども教室」を全小学校区で開催し、児童の安全な放課後の居場所づくりと家庭学習の習慣づけを図りました。
- ・ 青少年の健全育成については、少年少女ふるさと発見探偵団、少年少女囲碁・将棋教室、遠野わらすっこまつり等の事業を実施するとともに、少年委員を中心として、少年の非行防止・環境浄化活動を行い、地域が一体となって活動を展開しました。
- ・ 芸術文化の振興については、音楽、落語、演劇等の自主事業を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供しました。また、市民芸術祭、遠野物語ファンタジー等の開催や、遠野市民センターバレエスタジオ及び遠野少年少女合唱隊の運営により、市民の芸術文化活動の促進に寄与しました。

成果と課題

事業	成果	課題
生涯学習のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報遠野の「学びのいずみ」や市ホームページにより生涯学習情報を定期的に市民に提供し、効率的に講座を開催することができた。 ・ 市民センター及び地区センターにおいて各種講座を開催し、生涯学習の推進に努めた。 ・ 『市民協働企画 私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」』の活動を支援することにより、市民協働による学習機会を充実させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ニーズの把握に一層努めるとともに、講座の内容についても、より充実を図っていく必要がある。 ・ 今後も、定期的かつ継続的に学習機会を提供していく必要がある。
地域教育文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校との連携による「家庭教育ゼミナール」や家庭教育講演会を開催したことにより、家庭教育に関する学習の機会を保護者等に提供することができた。 ・ 地域全体で学校教育を支援する「学校支援地域本部」の取組を行い、学校、家庭、地域の連携協力を強化し、地域全体での教育力の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の内容をさらに充実させ、参加者数を増やしていく必要がある。

事業	成果	課題
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年ふるさと発見探偵団での様々な体験活動を通して、児童が集団の中で互いに協調しながら交流を深めることができた。 ・ 青少年囲碁・将棋教室やプロ棋士を招いての親子将棋教室を開催し、囲碁・将棋の対局を通して、児童・生徒と地域の指導者等との交流を深めた。 ・ 放課後子ども教室を全小学校区で実施し、児童の安全な放課後の居場所づくりや自主学習・家庭学習の習慣づけに寄与した。 ・ 「地域の子どもは地域で守る」を念頭に、少年センターを中心として、関係機関・団体・地域が連携し、少年の非行防止・環境浄化活動に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと発見探偵団の活動のより一層の充実に努める必要がある。 ・ 放課後子ども教室を継続し、児童の家庭学習・自主学習の習慣化を図っていく必要がある。 ・ 市民に対し、非行防止や環境浄化の意識の啓発を図り、青少年の健全育成を図っていく必要がある。
都市交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都武蔵野市から児童20名を受け入れ、本市の児童との相互交流を深めた。 ・ 姉妹都市であるイタリア・サレルノ市のサレルノ国際映画祭に「遠野賞」として切り絵を贈呈した。 ・ 外務省との共催事業「地方の魅力発信プロジェクト」により、フランス、イタリアで細越しし踊り保存会の公演を行い、遠野の文化を世界に発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生海外交流事業の内容について、さらなる充実に努める必要がある。 ・ 平成26年にサレルノ市との姉妹都市締結30周年を控えていることから、準備等を進めていく必要がある。
芸術文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供した。 市民企画音楽会「音工房コンサート～ふるさとの旋律～」 東西落語名人二人会「桂雀三郎&春風亭昇太」 遠野市民センター開館40周年記念事業「ゲゲゲの女房」公演 ・ 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野青少年少女合唱隊の活動を支援するとともに、発表会を開催し、児童・生徒の情操教育等に寄与した。 ・ 第37回遠野物語ファンタジー「お父恋し吹雪の夜」を開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代がキャスト、スタッフ等として参加することにより、市民協働による舞台をつくりあげることができた。 ・ 市芸術文化協会加盟団体の自主事業の開催に対する支援を行うとともに、市民芸術祭（合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会及び菊花展）を開催し、芸術文化団体等が日頃の成果を披露する機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業の開催に当たっては、住民ニーズ等の把握に一層努めていく必要がある。 ・ バレエスタジオ及び青少年少女合唱隊については、より効果的な運営を展開することができるよう、受講生の確保に努める必要がある。 ・ 遠野物語ファンタジーについては、多くの市民が参加することのできる体制を今後も維持していく必要がある。

エ ふるさとの文化の継承・創造

総括

本市の貴重な文化財等の調査、保護、啓発活動等を通して、郷土の歴史・文化の掘り起こしと保存を行うとともに、古くから伝承されてきた文化の継承に努めました。

成果と課題

事業	成果	課題
文化財調査保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「十月仏」7幅を遠野市指定文化財に指定したほか、国指定重要文化財の「旧菊池家住宅」の修繕を行うなど、文化財の保護に努めた。 ・郷土芸能の映像記録の作成、備品購入に要する経費に対する補助を行うなど、郷土芸能の継承に努めた。 	<p>今後も、文化財の調査・保護と郷土芸能の保護・育成を継続し、郷土の文化の継承に努めていく必要がある。</p>
埋蔵文化財発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の包蔵地やその隣接地で行われる開発事業に先立ち、分布調査、試掘調査、工事立会い、本発掘調査等を行い、開発事業との調整を円滑に進め、埋蔵文化財を保護した。 ・発掘調査報告書を刊行し、発掘調査により得られた成果を公表した。 	<p>遺物や調査記録の適正な管理を継続していく必要がある。</p>
文化的景観保存事業	<p>『遠野物語』ゆかりの地である土淵町山口集落の重要文化的景観への追加選定に向けて民俗、建築、動物等に関する調査を実施するとともに、地域の景観を守るため、住民の自主性を尊重したガイドラインを作成した。</p>	<p>追加選定に向けて、各種調査等を今後も継続していく必要がある。</p>
千葉家重要文化財指定整備活用事業	<p>国指定重要文化財「千葉家住宅」の公有化に向け、評価調査及び測量を実施した。</p>	<p>公有化に向けて、今後も調査等を継続する必要がある。</p>

(2) 平成23年度に実施した事務事業の点検及び評価

ア 点検及び評価の概要

「遠野市総合計画後期基本計画」（平成23年度～平成27年度）では、市民主体の行政運営を推進するため、計画の進捗状況を数値で示した141のまちづくり指標について、年度ごとに段階的に目標値を設定し、その達成状況を毎年度公表することとしています。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に当たっては、教育委員会の権限に関する事務に関連する19のまちづくり指標及びこれに関連する事業について外部評価を実施しました。

また、平成23年度に教育委員会が実施した93の事務事業の点検及び評価を行うため、それぞれの事務事業の内容と計画値、その成果と実績値などをまとめた成果説明書を作成しました。

イ 総合計画後期基本計画まちづくり指標の点検及び評価

総合計画後期基本計画まちづくり指標のうち教育委員会の権限に属する事務に関連する19の指標について、平成23年度における目標値に対する実績値の割合から達成率を算出し、

達成（達成率 100%以上）

概ね達成（達成率90%以上 100%未満）

未達成（達成率90%未満）

の3段階に区分し、資料編【資料1】平成23年度総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）実績一覧表としてまとめました。

【平成23年度総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）総括表】

項目	平成23年度 (後期基本計画)				平成22年度 (前期基本計画)			
	指標数		率(%)		指標数		率(%)	
まちづくり指標の数	19		100		23		100	
達成（達成率 100%以上）	9	18	47.5	95	12	17	52	74
概ね達成（達成率90%以上 100%未満）	9		47.5		5		22	
未達成（達成率90%未満）	1	1	5	5	6	6	26	26

【点検及び評価】

(1) 「達成」であった指標は次の9指標であり、指標全体の47.5%に当たります。

これらの指標については、目標値を上回っており、関連事業においても着実な進展が図られていることから、今後もこれを継続していくため、さらに取組内容の充実を図っていく必要があります。

姉妹都市への市民派遣数（100%）

学習定着度状況調査（小学校）（100.7%）

学校給食食材に占める地場産物使用割合（100.5%）

市民センター施設の利用件数（スポーツ施設除く）（120%）

全講座における継続的な学習機会の割合（102.8%）

市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数（107.0%）

家庭教育講座等の延べ参加者数（134.9%）

市民協働の芸術文化事業の参加者数（107.2%）

民俗芸能の映像記録件数（累計）（100%）

(2) 「概ね達成」であった指標は次の9指標で、指標全体の47.5%に当たります。

スポーツ施設利用者数（99.3%）

老人クラブ加入者数（累計）（97.6%）

小学校標準学力検査偏差値（98.5%）

中学校標準学力検査偏差値（97.4%）
学習定着度状況調査（中学校）（95.3%）
市民センター施設の利用者数（スポーツ施設除く）（94.0%）
芸術文化協会加盟団体の自主事業数（91.7%）
市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数（93.9%）
指定文化財説明板設置件数（累計）（93.8%）

平成23年度は、東日本大震災による被害を受けた沿岸地域の支援のため、自衛隊が遠野運動公園に駐屯するなどスポーツ施設の使用が一部制限されましたが、市民プールや銀河の森総合運動公園の利用者数が大幅に増加したことなどにより、スポーツ施設利用者数は目標値 216,600人に対して実績値は 215,070人、達成率は99.3%となりました。

また、小学校標準学力検査偏差値が98.5%、中学校標準学力検査偏差値が97.4%、学習定着度状況調査（中学校）が95.3%と、それぞれ概ね目標値に近い値となっていることから、本市の児童・生徒の学力が年々着実に定着してきていると考えられます。

(4) 「未達成」であった指標は「中学生・高校生の海外派遣数（47.4%）」の1指標で、指標全体の5%に当たります。

平成23年度は、アメリカ合衆国・チャタヌーガ市へ中学生9人及び引率2人を派遣しましたが、平成23年2月に発生したカンタベリー地震の影響により、高校生のニュージーランド・クライストチャーチ市への派遣を中止したことから、目標値を下回る結果となりました。

チャタヌーガ市との交流事業については、20年以上継続して実施している事業であることから、現在の課題を整理しながら、事業内容の見直しや充実を図っていく必要があります。

ウ 平成23年度に実施した93事務事業の点検及び評価

平成23年度に遠野市教育委員会が実施した93の事務事業の点検及び評価を行うため、個々の事務事業の内容・計画値・予算額とその成果・実績値・決算額を、資料編【資料2】**平成23年度事務事業成果説明書（教育委員会93事務事業）**としてまとめました。

エ 外部評価の結果

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による外部評価については、平成24年12月19日（水）に「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成23年度実施分）の点検・評価会議」を開催し、**学識経験を有する5名の評価員に、総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）の達成状況及びこれに関連する事業の実施状況について、次のとおり評価、意見等をいただきました。**

『点検・評価会議における評価、意見等』

【標準学力検査偏差値及び学習定着度状況調査について】

いただいた評価、意見等

小学校については、標準学力検査の偏差値が全国平均を上回っている学校が多いことから、学力が着実に向上していると感じる。また、中学校については、全国平均を上回っている学校の取組内容を他校も共有できるような機会を設けていただきたい。

学力向上のため、教職員の方々は日々努力されていることと思う。学力向上のためには授業力の向上が第一であるし、また、例えば反復学習の機会を充実させるなど、基礎学習を徹底する取組も必要であると考えます。

事務局の回答

学力向上対策会議を年3回開催し、各校の取組内容やその成果、課題等について情報を共有しながら、さらなる学力向上をめざして取り組んでいるところである。

各学校においては、検査・調査の結果を分析し、どの教科のどの領域に課題があるのかを明らかにした上で、その課題をどのように解決していくか研究を進め、実践を行っているところである。学校によって課題のある部分は異なることから、取組のアプローチのしかたも学校ごとに違ってくる。

中学校については、生徒数が少ないほど、一人一人の点数が平均点に影響を及ぼす度合いが大きくなる傾向にあることから、生徒一人一人の家庭学習の質の向上を図る必要がある。

【中学生・高校生の海外派遣について】

いただいた評価、意見等

高校生の海外派遣に対して、市としてどのような形でかかわっていくのかということについて、今後検討する余地があるのではないか。

事務局の回答

現在は、高校が独自で派遣を実施していることから、指標の設定については今後見直しを図る必要があると考えている。

【芸術文化振興事業について】

いただいた評価、意見等

市民センターパレエスタジオは30年以上継続されており、非常に意義のある事業であるが、経費面などにおいては、見直しを図ることができる余地もあるのではないか。また、市内の指導者の育成についても考えていくべきではないか。

事務局の回答

遠野市独自の取組として長年にわたって取り組んできた事業であることから、今後も継続していくべき事業であると捉えている。市内や県内では指導者の確保が非常に難しく、県外のバレエ団に講師の派遣を依頼しているため、一定の経費は必要となる。また、市内の指導者の育成も重要な課題であるが、現在はその段階までは至っていない状況である。これらの課題については、今後、様々な角度から検討を進めていく必要があると考えている。

【スポーツ活動、国体開催に向けた取組等について】

いただいた主な評価、意見等

平成28年度の国体開催に向けて、今後は選手強化の取組も必要ではないか。また、特に児童については、スポーツ少年団のような単一の種目の活動だけでなく、様々なスポーツに取り組むことができる機会も必要ではないか。

スポーツ少年団の指導者を対象に、児童への指導のあり方等についての研修の機会を設けていただきたい。

事務局の回答

児童に様々な種目を体験させる取組については、重要な課題であると捉えていることから、実施に向けて検討を進めていく。また、本市が国体の開催会場となっていることについて、より周知を図る取組も必要であると考えている。

その他の意見等

少年少女ふるさと発見探偵団は、子どもたちにとって大変よい取組だと思う。ぜひ、今後も継続して実施していただきたい。

チャレンジ徒歩通学は、一定の期間を定めて実施しているが、実施期間外であっても、児童・生徒の徒歩通学を促進するような取組が必要ではないか。

放課後子ども教室を楽しみにしている子どもたちが非常に多く、日数をもっと増やしてほしいという声も聞かれることから、今後も事業を継続していただきたい。

奨学資金償還金の滞納額の減少に努めていただきたい。

子どもたちの安全・安心を守る取組をより充実させていただきたい。保護者の方々も積極的に協力しているが、防犯協会や交通安全協会をはじめとした地域の方々との連携をより深めていく必要があるのではないかと考えている。

資料編

【資料1】

平成23年度総合計画後期基本計画まちづくり指標

(教育委員会19指標)実績一覧表

【資料2】

平成23年度事務事業成果説明書

(教育委員会93事務事業)

平成23年度総合計画後期基本計画 まちづくり指標(教育委員会19指標)実績一覧表

まちづくり指標		前年度 実績値	23年度		達成状況	達成率 (%)	成果・評価
指標名	単位		目標値	実績値			
1	スポーツ施設利用者数	人	192,512	216,600 215,070	概ね達成	99.3	運動公園野球場及び多目的運動広場は、東日本大震災による自衛隊の駐屯で使用を制限したため、施設については例年並みの利用者数となっているが、市民プールは前年と比較して3倍の増、銀河の森総合運動公園についても前年と比較して1.5倍の増となった。
2	老人クラブ加入者数(累計)	人	3,168	3,170 3,093	概ね達成	97.6	加入者数が減少している要因は、高齢になり行事等への参加が難しくなったことで退会する人や組織的な束縛を嫌う人が多くなっていることなどであるため、活動の内容を理解することができるようなチラシの配布や、スポーツ大会等の交流事業に参加するように声掛け等を行い、加入者を増やしていく。
3	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	19 9	未達成	47.4	アメリカ合衆国・チャタヌーガ市へ中学生9人、引率2人を派遣した。 また、遠野高校においては、ニュージーランド・クライストチャーチ市との間で、隔年で高校生の派遣と受入れを行うこととしているが、ニュージーランドで発生したカンタベリー地震の影響により、平成23年度は派遣を中止した。
4	姉妹都市への市民派遣数	人	0	0 16	達成	100.0	平成24年度にイタリア・サレルノ市への市民派遣を予定していたが、外務省の助成事業を利用し、前倒して細越しし踊り保存会によるマルセイユ(フランス)、ローマ、サレルノ(イタリア)でのしし踊り公演を実施した。サレルノ市では、市役所での歓迎行事において公演を行ったほか、夜はメインストリートにおいて多くの観衆の中で公演を行った。 また、公演に併せて観光PR用DVDを配布し、遠野の文化を発信した。
5	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	52.2	53.3 52.5	概ね達成	98.5	全体としては、目標を概ね達成している状況である。 学年ごとの結果を見ると、市内小学校11校において、2年生では9校、3年生では9校、4年生では6校、5年生では9校、6年生では7校が全国平均を上回っている状況である。 各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。
6	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	49.3	50.4 49.1	概ね達成	97.4	全体としては、目標を概ね達成している状況である。 学年ごとの結果を見ると、市内中学校8校において、1年生では5校、2年生では4校、3年生では3校が全国平均を上回っている状況である。 各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。
7	学習定着度状況調査(小学校)	平均点	71.6	72.1 72.6	達成	100.7	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は70.5点であり、目標値は県平均点を1.6ポイント上回る72.1点である。 全体としては、目標を達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内小学校11校において、4年生では4校、5年生では7校が県平均点を上回っている状況である。 各学校においては、この結果をもとに、補充指導及び個別指導に取り組んでいる。
8	学習定着度状況調査(中学校)	平均点	59.6	61.3 58.4	概ね達成	95.3	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は61.1点であり、目標値は県平均点を0.2ポイント上回る61.3点である。 全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内中学校8校において、1年生では4校、2年生では4校が県平均点を上回っている状況である。 各学校においては、この結果をもとに、補充指導及び個別指導に取り組んでいる。
9	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	66.6	65.0 65.3	達成	100.5	年間を通して遠野産食材の使用に努めたが、東日本大震災の影響もあり、目標値は達成したものの、対前年比では1.3ポイント下回る結果となった。 今後は、産直組合との連携により、さらなる供給体制の強化を図ることが課題である。
10	市民センター施設の利用件数(スポーツ施設除く)	件	4,507	4,050 4,859	達成	120.0	東日本大震災の影響により、前年度実績を下回ったが、目標値は上回った。 今後も、生涯学習等の充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体が使いやすい施設運営を推進する。
11	市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く)	人	172,227	173,300 162,890	概ね達成	94.0	東日本大震災の影響により、利用件数に比べ、利用者数が大幅に前年度実績を下回った。 今後も、生涯学習等の充実による利用件数の増加に伴う利用者数の増加が見込まれることから、利用団体が使いやすい施設運営を推進する。

まちづくり指標			前年度 実績値	23年度		達成状況	達成率 (%)	成果・評価
	指標名	単位		目標値	実績値			
12	全講座における継続的な学習機会の割合	%	38.1	40.0	41.1	達成	102.8	多様な市民のニーズに対し、多くの人に参加しやすいように講座を企画した。今後も、参加者が増加するように、計画的に講座を開催する。
13	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,562	4,730	5,062	達成	107.0	東日本大震災により市民センターや地区センター施設が使用できない時期もあったが、各施設において市民が参加しやすい講座を企画し、開催した。今後も、市民のニーズを把握しながら、計画的に講座を開催する。
14	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,137	900	1,214	達成	134.9	学校、保護者、各町の地域教育協議会と連携し、「家庭教育ゼミナール」「地域で子どもを育てる活動発表会」を開催した。今後も、参加者を増やしていけるよう、地域と連携して事業を実施していく。
15	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	10	12	11	概ね達成	91.7	みやもりホールで4回、市民センター大ホールで5回、あえりあ遠野交流ホールで1回、蔵の道ギャラリーで1回自主事業が開催された。目標値は下回ったが、前年度と比較すると事業数は増加していることから、今後も芸術文化協会と連携しながら、加盟団体の自主事業数の増加に努める。
16	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	1,822	1,890	2,027	達成	107.2	遠野物語ファンタジー及び市民芸術祭の参加者数は減少したが、バレエスタジオ発表会や少年少女合唱隊発表会などの参加者数は増加し、全体的には例年以上の活発な展開が図られた。
17	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	8,975	8,000	7,508	概ね達成	93.9	市民協働の芸術文化事業の参加者数と同様に、遠野物語ファンタジー及び市民芸術祭の観賞者数は減少したが、バレエスタジオ発表会、少年少女合唱隊発表会の観賞者数は増加した。今後も、市民の芸術文化の高揚及び活性化を図るため、観賞者数の増加に努める。
18	指定文化財説明板設置件数(累計)	基	40	48	45	概ね達成	93.8	遠野遺産の標示板を優先して設置した。今後も計画的に案内板を設置し、文化財への理解と関心を深めていく。
19	民俗芸能の映像記録件数(累計)	件	18	19	19	達成	100.0	一つの団体で多数の演目を有する芸能もあり、一度に記録することは難しく、数演目ごとの記録となることが多い。演目の復活を図る必要がある。

【未達成のまちづくり指標(1指標)の分析】

まちづくり指標		未達成となった現状の分析	要因	今後の見通し
	指標名			
3	中学生・高校生の海外派遣数	平成23年2月にニュージーランドで発生したカンタベリー地震の影響により、高校生を派遣することができなかった。	外部要因	高校生の海外派遣については、その実施内容などについて、さらなる充実を図っていく必要がある。

平成23年度事務事業成果説明書

資料2

款	項	目	事業名
1	2	1	5 公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）
2	2	1	5 公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）
3	2	1	5 公共施設ロングライフ事業費（公民館）
4	2	1	5 各種財産管理費（教育費）（繰越明許費）
5	3	1	3 高齢者スポーツ大会費
6	3	1	3 老人クラブ育成指導費
7	3	2	1 青少年健全育成活動事業費
8	4	1	5 健康スポーツプログラム推進事業費
9	4	1	5 子どもの体力向上プログラム推進事業費
10	5	1	1 勤労青少年ホーム運営事業費
11	5	1	3 児童生徒の学校生活向上推進事業費
12	10	1	1 教育委員会費
13	10	1	2 事務局一般事務費
14	10	1	2 地域教育文化振興事業費
15	10	1	2 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費
16	10	1	2 私立幼稚園運営費補助金
17	10	1	2 私立幼稚園就園奨励事業費
18	10	1	2 私立幼稚園保育料助成事業費
19	10	1	2 教育環境企画費
20	10	1	2 学校教育一般事務費
21	10	1	2 文化行事奨励費
22	10	1	2 外国人講師招へい事業費
23	10	1	2 就学指導委員会費
24	10	1	2 学校教育専門員配置事業費
25	10	1	2 特色ある学校づくり事業費
26	10	1	2 ふるさと学校体験推進事業費
27	10	1	2 平成・南部藩寺子屋交流事業費
28	10	1	2 特別支援教育推進事業費
29	10	1	2 特別支援教育推進事業費（光交付金）
30	10	1	2 遠野わらすっこ「夢の教室」事業費
31	10	1	3 教育研究所費
32	10	1	4 育英事業費
33	10	1	5 公舎管理費
			【小学校】
34	10	2	1 小学校管理費
35	10	2	1 学校保健管理費（小学校）
36	10	2	2 通学対策費（小学校）
37	10	2	2 教材整備費（小学校）
38	10	2	2 教材整備費（繰越明許費）（小学校）
39	10	2	2 就学援助費（小学校）
40	10	2	2 特別支援教育関係費（小学校）
41	10	2	2 特別支援教育就学奨励費（小学校）
42	10	2	2 理科教育設備整備事業費（小学校）
43	10	2	2 体育・文化行事奨励費（小学校）
44	10	2	2 教育研究指定校費（小学校）
45	10	2	3 綾織小学校改築整備事業費
46	10	2	3 綾織小学校改築整備事業費（事故繰越）
47	10	2	3 綾織小学校外構等整備事業費（事故繰越）

款	項	目	事業名
48	10	2	3 遠野北小学校大規模改造等事業費
49	10	2	3 プール改修事業費
50	10	2	3 遠野小学校屋内運動場改築整備事業費（繰越明許費）
			【中学校】
51	10	3	1 中学校管理費
52	10	3	1 学校保健管理費（中学校）
53	10	3	2 通学対策費（中学校）
54	10	3	2 教材整備費（中学校）
55	10	3	2 教材整備費（繰越明許費）（中学校）
56	10	3	2 就学援助費（中学校）
57	10	3	2 特別支援教育関係費（中学校）
58	10	3	2 特別支援教育就学奨励費（中学校）
59	10	3	2 理科教育設備整備事業費（中学校）
60	10	3	2 体育・文化行事奨励費（中学校）
61	10	3	2 教育研究指定校費（中学校）
62	10	3	3 遠野中学校改築整備事業費
63	10	3	3 遠野中学校改築整備事業費（繰越明許費）
64	10	4	1 幼稚園運営事業費
65	10	5	1 社会教育一般事務費
66	10	5	1 生涯学習のまちづくり推進費
67	10	5	1 青少年活動サポート事業費
68	10	5	1 と・お・のいきいき参画プラン推進事業費
69	10	5	1 芸術文化振興事業費
70	10	5	1 都市交流推進事業費
71	10	5	1 少年少女ふるさと発見探偵団育成事業費
72	10	5	1 放課後子どもプラン推進事業費
73	10	5	2 公民館一般管理費
74	10	5	2 公民館一般管理費（繰越明許費）
75	10	5	2 文化交流施設管理費
76	10	5	5 文化財調査保護費
77	10	5	5 埋蔵文化財発掘調査費
78	10	5	5 文化的景観保存事業費
79	10	5	5 千葉家重要文化財指定整備活用事業費
80	10	6	1 スポーツ健康一般事務費
81	10	6	1 競技・イベントスポーツプログラム推進事業費
82	10	6	1 ジュニアレベルアッププログラム推進事業費
83	10	6	1 岩手国体施設整備調査事業費
84	10	6	2 学校給食事業費
85	10	6	3 体育施設管理費
86	10	6	3 体育施設管理費（繰越明許費）
87	10	6	3 健康増進体育施設整備事業費
88	11	4	1 公立学校施設災害復旧事業費
89	11	4	1 公立学校施設災害復旧事業費（繰越明許費）
90	11	4	2 社会教育施設災害復旧事業費
91	11	4	2 社会教育施設災害復旧事業費（繰越明許費）
92	11	4	3 保健体育施設災害復旧事業費
93	11	4	3 保健体育施設災害復旧事業費（繰越明許費）

2 款		総 務 費		1 項		総 務 管 理 費		5 目		財 産 管 理 費	
事 業 名		公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）								単位：円	
事業内容	小学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。						計画値	対象施設 小学校 11校			
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など小学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数62件：5,484,045円 小友小学校校内放送設備修繕、遠野小学校暖房機器修繕 等						実績値	修繕実施施設 小学校 11校		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
5,500,000		5,484,045								5,484,045	

2 款		総 務 費		1 項		総 務 管 理 費		5 目		財 産 管 理 費	
事 業 名		公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）								単位：円	
事業内容	中学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。						計画値	対象施設 中学校 8校			
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など中学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数51件：2,963,100円 小友中学校職員トイレ污水管修繕 附馬牛中学校女子トイレ洋式便器取替 等						実績値	修繕実施施設 中学校 8校		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,000,000		2,963,100								2,963,100	

2 款		総 務 費		1 項		総 務 管 理 費		5 目		財 産 管 理 費	
事 業 名		公共施設ロングライフ事業費（公民館）								単位：円	
事業内容	地区センター（公民館）施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ快適な環境の整備に資する。						計画値	対象施設 地区センター 6施設 宮守地区 4施設 計 10施設			
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、地区センター（公民館）施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数20件：1,895,145円 上郷地区センター雨漏り修繕 附馬牛地区センター不凍栓修繕 等						実績値	維持修繕件数 20件		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
2,000,000		1,895,145								1,895,145	

2 款		総 務 費		1 項		総 務 管 理 費		5 目		財 産 管 理 費	
事業名		各種財産管理費（教育費）（繰越明許費）								単位：円	
事業内容	平成22年度に実施した緊急安全点検により修繕の必要性を確認した体育施設等の修繕を行い、利用者の安全を確保する。						計画値	修繕 16件 工事 17件			
	体育施設等の修繕を実施し、利用者の安全を確保した。							実績値	修繕 16件 工事 17件		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
24,072,000		23,849,175								23,849,175	

3 款		民 生 費		1 項		社 会 福 祉 費		3 目		老 人 福 祉 費	
事業名		高齢者スポーツ大会費								単位：円	
事業内容	高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。						計画値	大会数 5回 参加者数 1,500人			
	遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、次のスポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 ・第6回ゲートボール・ベタンク大会（6月1日、276人参加） ・第6回さわやかスポーツ大会（7月25日、855人参加） ・第6回グラウンド・ゴルフ大会（8月26日、86人参加） ・第6回シルバー室内競技大会（3月2日、430人参加） なお、いきいきシルバースポーツ大会（県大会）は、東日本大震災のため中止となった。							実績値	大会数 4回 参加者数 1,647人		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
569,000		528,710								528,710	

3 款		民 生 費		1 項		社 会 福 祉 費		3 目		老 人 福 祉 費	
事業名		老人クラブ育成指導費								単位：円	
事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。						計画値	単位クラブ数 69団体 事業回数 5回 会員数 3,170人			
	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。 連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 ・第43回岩手県老人クラブ大会参加（10月13日、20人参加） ・第6回シルバー文化祭（展示部門、11月5日～6日） 作品437点 ・第6回シルバー文化祭（舞台部門、11月15日） 参加者600人 ・「遠野今昔～山ひだに生きる（第6集）」発行 ・リーダー研修会（1月11日） 参加者205名 ・第6回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月15日）							実績値	単位クラブ数 69団体 事業回数 5回 会員数 3,093人		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,007,000		2,959,401		1,927,000						1,032,401	

3 款 民 生 費		2 項 児 童 福 祉 費		1 目 児 童 福 祉 総 務 費		
事業名		青少年健全育成活動事業費				単位：円
事業内容	青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。				計画値	少年委員活動回数 延べ1,080回
成果	少年委員を市内全部で88人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等との連携体制をとった。通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、合同補導を実施した。補導活動日数は215日であった。有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。なお、冬期間の活動を休止した地区があったことにより、活動回数の実績値が計画を下回ったことから、来年度は計画値を見直す。				実績値	少年委員活動回数 延べ694回
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,615,000	3,176,826				3,176,826	

4 款 衛 生 費		1 項 保 健 衛 生 費		5 目 健 康 づ くり 推 進 事 業 費		
事業名		健康スポーツプログラム推進事業費				単位：円
事業内容	平成19年8月に開校した「遠野市健康づくり総合大学・とすば」において、市民一人一人がそれぞれの年齢に応じた健康づくり活動を実践することができるよう、健康教室を開催する。本校はスポーツ・保健・生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践する。また、市内9地区センターをサテライト校として、地域の実情に応じた健康づくり活動を実践する。				計画値	・健康づくり総合プログラムの実践（本校及びサテライト校における健康づくり教室の開催） ・健康づくり総合大学 大学祭「心も体もホット！スポーツの集い」の開催
成果	本校及びサテライト校で各種健康プログラムを実践し、年間を通して市民一人一人が健康づくり活動に積極的に参加できるよう、身近な施設を活用することで、多くの市民が継続して健康づくり活動を実践している。参加者からは、健康づくり活動を行うことにより、体の調子が良くなった等の声が聞かれる。また、平成23年度はICTを活用した健康相談と併せて、自宅で気軽にできる運動教室を開催した。とすば大学祭では、沿岸被災地の復興を応援するため、大船渡市、住田町、釜石市、大槌町で健康づくり活動を実践している団体を招き、市民との交流を図りながら、楽しい時間を共有することができた。				実績値	・本校スポーツ教室 72回 2,340人参加 ・サテライト校 108回 1,580人参加 ・ICT健康教室 32回 292人参加 ・大学祭「心も体もホット！スポーツの集い」 275人参加
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,594,000	2,561,419			533,800	2,027,619	

4 款 衛 生 費		1 項 保 健 衛 生 費		5 目 健 康 づ くり 推 進 事 業 費		
事業名		子どもの体力向上プログラム推進事業費				単位：円
事業内容	子どもの体力向上・運動能力の向上を目指すとともに、望ましい生活習慣の改善・形成を図るため、「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進を図る。 ・チャレンジ徒歩通学の推進 ・走り方講習会の実施 ・キッズ元気アップ応援隊による就学前児童の体力・運動能力向上の推進				計画値	・新体力テストの向上 ・50m走の国・県平均以上を目標とした取組 ・キッズ元気アップ応援隊による就学前児童への運動機会の提供
成果	・チャレンジ徒歩通学強化月間（10月の20日間）として市内全小学校の児童（1,391人）を対象に実施した。（20日完歩1,142人。全体の82%、対前年度比2パーセントの増） ・走り方教室を小学校11校中6校で延べ8回実施、457名参加（ラダートレーニング） ・キッズ元気アップ応援隊を実施し、就学前児童に様々な運動を体験させることができた。				実績値	・チャレンジ徒歩通学完歩者対前年度比2%の増 ・走り方教室ラダートレーニング6校延べ8回、457名 ・キッズ元気アップ応援隊各保育所で65回実施、1,577人（親子144組）が参加
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,473,000	974,039				974,039	

5 款 労 働 費		1 項 労 働 諸 費		1 目 勤 労 青 少 年 ホ ー ム 管 理 費		
事業名		勤労青少年ホーム運営事業費				単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導（定期利用団体6団体、その他不定期利用団体4団体） ・県内勤労青少年ホームとの交流会等への派遣 若手県勤労青少年ホーム協議会及び各県内ホームで行われる事業・イベントに参加し、青年間の交流を図る。 ・遠野市勤労青少年ホーム夜間管理委託 年間120日、勤労青少年ホームの夜間の管理を遠野市青年団体協議会に委託する。 				計画値	定期利用申請団体の利用 8 団体
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期利用団体の活動に対する助言、指導を行った。 ・年間を通して、音楽室、集会室等2,013回の使用があり、延べ19,386人が利用した。 ・自主事業として、遠野市勤労青少年フットサル大会を開催した。 ・県内勤労青少年ホームとの交流を行った。 定期総会（4月） 遠野早池峰ふれあい雪合戦 				実績値
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
4,369,000	4,267,996				4,267,996	

5 款 労 働 費		1 項 労 働 諸 費		3 目 雇 用 対 策 費		
事業名		児童生徒の学校生活向上推進事業費				単位：円
事業内容	個別に特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活上の支援を行うため、学校生活推進員2名を配置する。				計画値	学校生活推進員の配置 2 名
	成果	市立中学校に学校生活推進員2名を配置し、個別に特別な支援を必要とする生徒に対し、生活上・学習上の支援を行った。				実績値
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
4,831,000	4,757,035				4,757,045	

10 款 教 育 費		1 項 教 育 総 務 費		1 目 教 育 委 員 会 費		
事業名		教育委員会費				単位：円
事業内容	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条に規定する教育に関する事務を管理し、及び執行する。				計画値	定例会開催 12回 臨時会開催 随時 委員協議会開催 随時
	成果	教育委員会定例会及び臨時会並びに委員協議会を開催し、教育行政の推進を図った。 定例会及び臨時会では、34件の議案を審議した。 また、委員協議会では、1件の案件について協議を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員報酬（教育長を除く4名） 2,656,799円 ・教育委員会費（旅費、会議出席負担金等） 172,394円 				実績値
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,346,000	2,829,193				2,829,193	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					事務局一般事務費	単位：円
事業内容	教育行政の推進に当たって必要となる賃金、需用費、役務費、負担金・補助金その他の一般事務費。			計画値	事業支援団体 1 団体（遠野市学校保健会）	
成果	<p>適正な予算執行のもと、各種事務及び事業を円滑に実施した。 また、遠野市学校保健会に対して補助金を交付し、学校保健活動の推進を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃金 12,667,076円 ・共済費 1,800,184円 ・需用費 2,680,961円 ・役務費 205,653円 ・負担金（派遣指導主事給与費負担金等） 9,659,387円 ・遠野市学校保健会運営費補助金 440,000円 等 			実績値	事業支援団体 1 団体（遠野市学校保健会）	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
30,816,000	28,528,311				28,528,311	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円
事業内容	<p>家庭における教育を支援することを目的として、家庭教育ゼミナールを開催し、家庭教育に関する学習機会の提供と充実を図る。 また、地域全体で学校教育を支援する「学校支援地域本部」の取組を行い、学校、家庭、地域の連携協力を強化し、社会全体の教育力の向上を図る。</p>			計画値	家庭教育ゼミナール開催 12回 家庭教育ゼミナール参加者 1,150人 家庭教育講演会 1 回 学校支援地域本部 2 本部設置（2 中学校区）	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域で子供を育てる活動発表会」の中で、東日本大震災から人のつながりをテーマに家庭教育講演会を実施し、多くの P T A 及び教員に家庭、地域でのつながりについての学習機会を提供することができた。 ・「家庭教育ゼミナール」を開催した。（市内12会場、参加者996人） ・小友小学校区及び小友中学校区において小友町地域教育協議会を学校支援地域本部として設置した。また、宮守中学校区において学校地区学校支援地域本部を設置した。 			実績値	家庭教育ゼミナール開催 12回 家庭教育ゼミナール参加者 996人 家庭教育講演会 1 回 218人 学校支援地域本部 2 本部設置（2 中学校区）	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,163,000	1,002,708	190,000			812,708	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費	単位：円
事業内容	<p>スクールガードリーダーによる学校巡回、通学路等の安全評価を実施し、及びスクールガード（地域安全ボランティア）を養成し、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。</p>			計画値	スクールガードリーダー活動計画時間数 220時間	
成果	<p>スクールガードリーダーによる市内全学校の巡回、通学路の安全点検及び安全パトロール等をきめ細かく実施するとともに、スクールガードと連携した見守り活動を効果的に行ったことにより、地域ぐるみで学校安全の推進に取り組むことができた。</p>			実績値	スクールガードリーダー活動実績時間数 220時間	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
331,000	326,009	217,000			109,009	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園運営費補助金								単位：円	
事業内容	幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の運営に要する費用に対し補助を行う。						計画値	私立幼稚園 2園			
	私立幼稚園 2園に対し補助金を交付し、私立幼稚園の健全な運営に寄与することにより、幼児教育の振興を図った。 ・光の園幼稚園 61人 552,500円 ・遠野聖光幼稚園 41人 502,500円							実績値	私立幼稚園 2園		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
1,118,000		1,055,000								1,055,000	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園就園奨励事業費								単位：円	
事業内容	私立幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の所得状況に応じて、保育料等を減免する私立幼稚園の設置者に対し、その減免分の補助を行う。						計画値	対象園児数 99人			
	保護者の所得状況に応じて保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興を図った。 ・光の園幼稚園 55人（3歳児18人、4歳児17人、5歳児20人） ・聖光幼稚園 33人（3歳児7人、4歳児16人、5歳児10人） ・やさか幼稚園（北上市） 1人（5歳児1人） ・暁の星幼稚園（北上市） 1人（5歳児1人）							実績値	対象園児数 90人		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
10,145,000		9,850,000		3,200,000						6,650,000	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園保育料助成事業費								単位：円	
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の経済的支援策として、私立幼稚園に就園する園児の保育料について、次のとおり助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。 ・第1子園児の保育料を、規定基準額から5%軽減する。 ・第2子園児の保育料を、規定基準額から10%軽減する。 ・第3子以降の園児の保育料は、月額4,800円とする。						計画値	保育料助成園児数 128人			
	保育料の助成により、保護者の経済的負担を軽減し、保護者がより子育てに意欲を持つことができる環境づくりに寄与した。 保育料助成園児数 106人 ・第1子園児 50人 ・第2子園児 42人 ・第3子以降園児 14人							実績値	保育料助成園児数 106人		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,395,000		3,076,700								3,076,700	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					教育環境企画費	単位：円
事業内容	<p>遠野市立中学校再編成計画（平成22年8月31日策定）に基づく中学校再編成を推進するため、具体的事項に関する検討及び協議を行う組織である「遠野市学校づくり協議会」を開催するとともに、その内部組織である3学区単位の学区部会を開催する。</p> <p>また、岩手県が策定を進めている「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」に関する検討を行うとともに、本市の地域実情に応じた高校教育の確保を推進するため、「遠野の高校教育を考える懇話会」を開催する。</p>			計画値	<p>学校づくり協議会の開催</p> <p>遠野の高校教育を考える懇話会の開催</p>	
成果	<p>学校づくり協議会を5回、及びその内部組織である3学区単位の学区部会を計13回開催し、校名、制服等に関する協議及び検討を行い、中学校再編成に向けての具体的取組を推進した。</p> <p>平成25年4月1日に新たに設置する3校の中学校の校名については、平成24年3月遠野市議会定例会に遠野市立学校設置条例の一部改正案を提案し、全会一致で可決され、次のとおり決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市立遠野中学校（現在の遠野中の位置） …現遠野中、綾織中、附馬牛中の学区 ・遠野市立遠野東中学校（現在の青笹中の位置） …現土淵中、青笹中、上郷中の学区 ・遠野市立遠野西中学校（現在の宮守中の位置） …現小友中、宮守中の学区 <p>また、遠野の高校教育を考える懇話会を開催し、今後の市内の高等学校の体制のあり方について意見交換を行い、現在の2校体制を維持していくべきであるという方向性をまとめた。なお、「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」の策定は、東日本大震災の被害及びその影響を踏まえ、見送りとなった。</p>			実績値	<p>学校づくり協議会開催回数 5回 学区部会（3学区）計13回開催</p> <p>遠野の高校教育を考える懇話会開催回数 1回</p>	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,169,000	1,035,534				1,035,534	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					学校教育一般事務費	単位：円
事業内容	<p>学校教育に関する庶務一般、関係会議等を開催する。</p> <p>また、指導主事の派遣による小中学校の校内研究支援を行う。</p> <p>学校教職員研修事業として授業力向上研修会（3回）、初任者研修会（3回）、幼稚園・保育園・小学校交流会、特別支援教育支援員研修会（2回）、特別支援教育推進会議、相談担当者連絡会を開催する。</p> <p>遠野市生徒指導推進協議会、岩手県こたばを育む親の会遠野支部、遠野市特別支援教育研究会の各事業への補助を行う。</p>			計画値	<p>指導主事の派遣 123回 各種研修会の開催 11回 事業補助団体 3団体</p>	
成果	<p>各教科担当の指導主事の派遣により、校内研究の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進することができた。</p> <p>各種研修会では、課題とされる分野の研修を行うことで、学校教育のより一層の充実が図られた。</p>			実績値	<p>指導主事の派遣 159回 各種研修会の開催 11回 事業補助団体 3団体</p>	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,463,000	1,312,123				1,312,123	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					文化行事奨励費	単位：円
事業内容	<p>市内小学校音楽祭の開催、市内小中学校作品展の開催、市内小中学校児童生徒文集「遠野」の発行を行う。</p>			計画値	<p>小学校音楽祭の開催 1回 児童生徒の作品展の開催 1回 文集の発行 200部</p>	
成果	<p>市内小学校音楽祭は、遠野テレビで放送することで、より多くの市民に対して視聴する機会を提供することができた。</p> <p>市内小中学校作品展は、市民センターで展示することにより、遠野市教育文化振興財団主催の顕賞式への出席者など、多くの市民に鑑賞いただいた。</p> <p>市内小中学校から推薦された作品により、児童生徒文集「遠野」を発行した。</p>			実績値	<p>小学校音楽祭の開催 1回 児童生徒の作品展の開催 1回 文集の発行 280部</p>	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
358,000	318,828				318,828	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事 業 名		外国人講師招へい事業費								単位：円	
事業内容	小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育に対する支援を図るため、外国語指導助手（ALT）2名を招へいし、国際化に対応することのできる英語力の定着と国際理解学習の推進を図る。							計画値	派遣学校数 19校 派遣回数 584回		
	成果	中学校では、「聞くこと」「話すこと」に関する言語活動を中心に、生徒の能力向上を図ることができた。 小学校では、外国語活動において、外国の言語や文化を体験的に理解するとともに、積極的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとする意欲が向上する等の効果があった。							実績値	派遣学校数 19校 派遣回数 466回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
8,401,000		8,273,502								8,273,502	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事 業 名		就学指導委員会費								単位：円	
事業内容	就学指導委員会を開催し、市内小中学校の児童生徒の就学に関する判断、支援を行う。							計画値	就学指導委員会の開催 3回		
	成果	就学前児童について、知能検査等各種教育相談を経て、よりよい就学環境を整えることができた。							実績値	就学指導委員会の開催 3回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
148,000		67,110								67,110	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事 業 名		学校教育専門員配置事業費								単位：円	
事業内容	学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導・支援を行う学校教育専門員を1名配置し、教員の指導力の向上を図る。							計画値	訪問学校数 19校 訪問日数 36日		
	成果	学校教育専門員が市内小中学校を訪問し、学力向上のため、教員の指導力向上を図り、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるよう指導、助言を行った。							実績値	訪問学校数 17校 訪問日数 41日	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
351,000		143,700								143,700	

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事業名		特色ある学校づくり事業費								単位：円	
事業内容	市内小中学校が、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。	計画値	実施学校数 19校								
			成果	学校、地域及び家庭の連携が図られ、地域に開かれた学校づくり及び特色のある学校づくりを推進することができた。 また、年度末に作成した報告集を市ホームページで公開し、各校の取組を市民に周知した。	実績値	実施学校数 19校					
予算額	決算額	財 源 内 訳									
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源					
	1,900,000	1,764,989				1,764,989					

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事業名		ふるさと学校体験推進事業費								単位：円	
事業内容	東京都武蔵野市の小学5年生及び6年生を遠野市立小学校3校で受け入れ、交流を行う。 児童の家庭を中心にホームステイを行いながら、2泊3日の日程で体験留学を行う。	計画値	受入児童数 15名								
			成果	東京都武蔵野市の小学5年生及び6年生を受け入れ、市内児童との交流を図ることができた。 各受入校では、それぞれ特色のある授業の中で、武蔵野市の児童と一緒に交流を図った。	実績値	受入児童数 9名					
予算額	決算額	財 源 内 訳									
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源					
	430,000	254,271				254,271					

10 款		教 育 費		1 項		教 育 総 務 費		2 目		事 務 局 費	
事業名		平成・南部藩寺子屋交流事業費								単位：円	
事業内容	根城南部氏の縁でつながりのある遠野市、青森県八戸市、同七戸町の児童がそれぞれの市町を相互に訪問し、交流を図る。 日常生活と異なる集団活動の中で、郷土の歴史や自然に親しみ、集団活動のあり方や公衆道徳等の体験を積む。	計画値	参加児童 26名								
			成果	市内の小学6年生が参加し、受入交流、派遣交流を通じて、根城南部氏の縁でつながりのある各市町の歴史、文化等を学び、相互に交流を図った。 ・八戸市児童45名、七戸町児童19名が参加した。 ・受入交流 平成23年7月25日（八戸市児童及び七戸町児童が来遠） ・派遣事業 平成23年8月3日から5日まで （遠野市児童が八戸市及び七戸町を訪問）	実績値	参加児童 25名					
予算額	決算額	財 源 内 訳									
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源					
	913,000	880,600				880,600					

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童の学校生活上の支援をするため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員12名を配置する。 遠野小学校及び遠野北小学校以外の小学校において、言語指導が必要な児童に対して、ことばの教室巡回指導を実施する。			計画値	特別支援教育支援員の配置 12名 学習指導講師の配置 1名	
	成果	小学校7校に特別支援教育支援員12名を配置し、通常学級において個別に特別な支援を必要とする児童に対して、生活上、学習上の支援を行った。 ことばの教室巡回指導は、7校18名の児童を対象として行い、言語活動の改善に向けて効果的な指導を行うことができた。			実績値	特別支援教育支援員の配置 12名 学習指導講師の配置 1名
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
13,804,000	13,403,630					13,403,630

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					特別支援教育推進事業費（光交付金）	単位：円
事業内容	別室登校など個別に支援を必要とする生徒の学校生活上の相談等を行うため、非常勤職員（ひかり相談員）1名を配置する。			計画値	ひかり相談員の配置 1名	
	成果	別室登校等の支援を必要とする生徒に対する相談のため、中学校にひかり相談員1名を配置し、様々な支援を行った。			実績値	ひかり相談員の配置 1名
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,560,000	2,334,186				2,300,000	34,186

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	単位：円
事業内容	心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手やそのOB、OGが「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に教えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。			計画値	実施校数 10校 実施回数 11回	
	成果	小学5年生及び6年生257名並びに中学生61名を対象に授業を行った。 「日常の学校生活の中では体験することの少ない元プロスポーツ選手等との触れ合いにより、多くの児童が自分の夢について真剣に考えるようになった。」「夢の実現のために努力する児童が増えた。」等と好評であった。 平成21年度から始まったこの事業は、各校とも次の開催を楽しみにしている児童が多く、より活発に自分の夢について発言する児童が増えた。 また、平成23年度は、市内で初めて中学生を対象として開催した。生徒たちは、小学生のときよりも「夢」を身近に感じたようであった。			実績値	実施校数 12校 実施回数 13回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,398,000	1,280,139				1,000,000	280,139

10 款 教 育 費		1 項 教 育 総 務 費		3 目 教 育 研 究 所 費		
事 業 名		教育研究所費				単位：円
事業内容	・市内小中学生（小2～小6、中1～中3）に対して、標準学力検査（NRT）を実施し、その結果をもとに各研究部会を開催し、課題の解決に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。	計画値	NRTの実施 1回 幼児ことばの教室教育相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会の開催 環境・科学発表会の開催 各1回			
	・地域理解の推進と郷土を愛する心を育むため、地域の教材を活用した社会科副読本（中学生用）を、インターネットで閲覧できる形で整備する。		実績値	NRTの実施 1回 幼児ことばの教室教育相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会の開催 環境・科学発表会の開催 各1回		
成果	市内小中学生（小2～小6、中1～中3）に対して、標準学力検査（NRT）を実施し、その分析結果を学力向上事業、研究部会の研究に反映することができた。	社会科副読本を印刷製本し、小学3年生に配布した。また、中学生には、インターネットで閲覧できる形の副読本を整備した。				
	幼児ことばの教室では、通級指導をすることで多くの幼児がその障がいを改善、解消することができた。また、適応指導教室では、学校訪問等により不登校児童生徒の情報を共有しながら、教育相談を行った。		環境・科学発表会では、環境及び科学に関する学習の成果を他校の児童生徒と発表し合うことで、より広い視野を持ち、環境問題への意識をさらに高めることができた。			
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7,575,000	7,277,114				7,277,114	

10 款 教 育 費		1 項 教 育 総 務 費		4 目 育 英 事 業 費		
事 業 名		育英事業費				単位：円
事業内容	遠野市奨学金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難なものに対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。	計画値	新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 5人 継続奨学生 大学生等 49人 高校生 3人			
	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。		実績値	新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 1人 継続奨学生 大学生等 49人 高校生 3人		
成果	新たに31人（大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者30人、高等学校に在学する者1人）を決定し、継続貸与者52人（大学生等49人、高校生3人）と合わせて83人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。					
	貸付状況					
	・新規大学生等 30人 14,400,000円					
	・新規高校生 1人 120,000円					
	・継続大学生等 49人 23,520,000円					
	・継続高校生 3人 480,000円					
	計 83人 38,520,000円					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
38,657,000	38,594,870			38,520,000	74,870	

10 款 教 育 費		1 項 教 育 総 務 費		5 目 公 舎 管 理 費		
事 業 名		公舎管理費				単位：円
事業内容	教職員住宅の適切な維持管理を行う。	計画値	教職員住宅 12棟			
	教職員住宅を適切に維持管理し、及び必要に応じた修繕を行い、教職員の居住環境の改善に努めた。		実績値	教職員住宅 12棟 （12棟入居）		
成果	・需用費（修繕料） 484,301円（延べ16件）					
	・建物火災保険料 24,852円					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
800,000	509,153			509,153		

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名					小学校管理費	単位：円
事業内容	市内小学校の運営に要する一般維持管理費用。			計画値	小学校 11校 学級数 83学級 児童数 1,397人	
成果	適正な予算執行のもと、市立小学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 51,207,302円 ・役務費 6,251,782円 ・委託料 9,949,170円 ・使用料及び賃借料 4,005,543円 等			実績値	小学校 11校 学級数 83学級 児童数 1,397人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
76,895,000	73,989,493			340,618	73,648,875	

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名					学校保健管理費（小学校）	単位：円
事業内容	児童及び教職員の健康診断、衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育に関する活動を円滑に行う。 また、学校保健安全法の規定に基づき、小学校入学予定の幼児を対象に健康診断等を実施し、心身の状況を把握することで、義務教育の円滑な運営に資する。			計画値	児童数 1,397人 教職員数 135人 就学時健診対象幼児数 207人	
成果	児童及び教職員の健康の保持増進及び疾病の予防に努め、健康教育の推進を図った。 （健康診断等実施項目） 内科・眼科・歯科健診（全児童）、耳鼻科健診（1～3、5年）、寄生虫卵検査（1～3年）、心臓検診（1・4年）、生活習慣病予防検診（4年）、脊柱側弯検診（5年）、尿検査（全児童）、教職員健診（全教職員）、教職員胃検診（35歳以上） また、10月及び11月に、小学校入学予定の幼児を対象に市内各小学校で健康診断等を実施したことで、子どもたちの心身の状況を把握し、義務教育の円滑な実施に資することができた。			実績値	児童数 1,397人 教職員数 128人 就学時健診実施幼児数 207人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
9,336,000	8,910,971	25,000			8,885,971	

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名					通学対策費（小学校）	単位：円
事業内容	遠距離から通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 ・小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校に通学する児童を対象に、スクールバス・スクールワゴンを運行する。 ・遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に、路線バスの定期券を配付、下校便を運行する。 ・青笹小学校に通学する中沢地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。 ・宮守小学校、達首部小学校、鱈沢小学校に通学する児童を対象に、スクールバスを運行する。 ・遠距離（4km以上）から通学する児童を対象に、通学費の助成を行う。 ・教育課程における児童移動のためのスクールバスを運行する。			計画値	・スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス委託） ・遠距離通学費補助金対象児童 34人	
成果	遠距離から通学する児童のため、スクールバス等を運行し、通学の負担の軽減を図った。また、遠距離から通学する児童に対し通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ・小友小、土淵小スクールバス運行委託料 4,494,000円 ・土淵小、附馬牛小スクールワゴン運行委託料 2,882,125円 ・早池峰バス（駒木地区）運行委託料 1,303,695円 ・青笹小学校スクールタクシー運行委託料 490,240円 ・宮守小、達首部小、鱈沢小スクールバス運行委託料 6,804,000円 ・スクールバス特別運行委託料 543,375円 ・遠距離通学費補助金 254,400円 ・車両管理費用 4,581,344円			実績値	・スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス委託） ・遠距離通学費補助金支給児童 32人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
21,889,000	21,353,179				21,353,179	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		教材整備費（小学校）								単位：円	
事業内容	各小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。						計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パーソナルコンピュータ借上げ 266台			
	成果	各小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。 また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。 ・教材備品購入費 3,394,718円 ・図書購入費 4,521,017円 ・パーソナルコンピュータ借上料 13,365,960円 等						実績値	・教材備品購入 84件 ・図書購入 2,245冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 266台		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
39,085,000		38,967,132						1,728,000		37,239,132	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		教材整備費（緑越明許費）（小学校）								単位：円	
事業内容	学校図書の充実を図るため、平成23年度「新しい国語」紹介図書を基本に、「住民生活に光をそそぐ交付金」により、各小学校の図書を整備する。						計画値	整備校 小学校11校			
	成果	「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用した学校図書の整備により、各校における児童一人当たりの蔵書数が増加し、小学校における読書活動のさらなる充実を図ることができた。						実績値	整備校 小学校11校 整備図書数 1,778冊		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
2,800,000		2,797,097		2,797,097							

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		就学援助費（小学校）								単位：円	
事業内容	経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。						計画値	児童数 145人			
	成果	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 155人 1,653,900円 通学用品費 134人 281,557円 新入学用品費 18人 358,200円 校外活動費 155人 286,900円 修学旅行費 34人 682,794円 通学費 10人 65,333円 学校給食費 155人 6,483,865円 学校病医療費 42人 406,465円 学校病医療通院費 19人 12,040円						実績値	支給児童数 161人		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
10,337,000		10,231,054		550,000						9,681,054	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育関係費（小学校）								単位：円	
事業内容	特別支援学級及びことばの教室の活動に対する支援を行う。						計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級 対象校 5校 8学級 対象児童 21人 ・ことばの教室 設置校 2校 対象児童 40人 			
	特別支援学級及びことばの教室を開設する小学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。							実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級 対象校 5校 8学級 対象児童 21人 ・ことばの教室 設置校 2校 対象児童 40人 		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
638,000		525,190								525,190	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育就学奨励費（小学校）								単位：円	
事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。						計画値	児童数 18人			
	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。							実績値	支給児童数 10人		
学校給食費 10人 216,750円		学用品費 10人 55,500円		新入学用品費 4人 39,800円		校外活動費 10人 7,550円			修学旅行費 3人 24,150円		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
588,000		343,750		114,000						229,750	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		理科教育設備整備事業費（小学校）								単位：円	
事業内容	<p>学習指導要領が改訂され、平成23年度からの理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことから、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、小学校における理科教育の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度 全小学校 ・平成22年度 全小学校 ・平成23年度 遠野小学校、遠野北小学校、鱒沢小学校 ・平成24年度 綾織小学校、小友小学校、附馬牛小学校、土淵小学校 ・平成25年度 青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校、達曽部小学校 						計画値	平成23年度整備 遠野小学校 遠野北小学校 鱒沢小学校			
	遠野小学校、遠野北小学校及び鱒沢小学校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図ることができた。							実績値	教材備品整備品目数 遠野小 5品目 遠野北小 7品目 鱒沢小 8品目		
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
1,000,000		993,520		477,000						516,520	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		体育・文化行事奨励費（小学校）								単位：円	
事業内容	市内小学校の体育事業への支援を行うため、遠野市小学校体育協会の実施する事業に対して補助金を交付する。						計画値	事業補助団体 1 団体			
	市内小学校水泳記録会及び同陸上記録会の開催を支援することができた。							実績値	事業補助団体 1 団体		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
693,000		693,000								693,000	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		教育研究指定校費（小学校）								単位：円	
事業内容	附馬牛小学校、遠野小学校及び綾織小学校の3校を研究指定校とする。附馬牛小学校は平成22年度から研究指定を行っており、2年目の今年度は学校公開を行い、市内及び県内の学校に対して研究の成果を発表する。遠野小学校と綾織小学校は指定1年目であることから、次年度の学校公開に向けて教科の研究を行う。						計画値	研究指定校 3校 学校公開研究会開催 1回			
	附馬牛小学校は、学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集、研究紀要及び研究のまとめを作成した。また、学校公開を行うことで、その研究の成果を市内小学校に還元することができた。遠野小学校及び綾織小学校は、研究指定1年目として基礎的研究を進め、2年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。							実績値	研究指定校 3校 学校公開研究会開催 1回		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
310,000		299,716								299,716	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事業名		綾織小学校改築整備事業費								単位：円	
事業内容	「学びのプラットフォーム構想」に基づき、綾織中学校に併設して、綾織小学校校舎を改築する。特別教室及び屋内運動場は、綾織中学校との共同利用とする。 ・平成19年度 基本構想（平成18年度繰越分） ・平成20年度 基本計画・基本設計（平成19年度繰越分） ・平成21年度 校舎改築工事 ・平成22年度 校舎改築工事、旧校舎解体工事、外構工事 ・平成23年度 旧綾織小学校グラウンド整備工事						計画値	旧綾織小学校グラウンド整備工事			
	地域及び学校との連携のもとに進めてきた「学びのプラットフォーム構想」に基づき、平成22年度に新校舎改築工事が完了した。新校舎は、綾織中学校の校舎に併設し、特別教室及び屋内運動場は綾織中学校の施設を共同利用している。 平成23年度は、旧綾織小学校グラウンドの整地工事、防球ネット設置工事等の実施により、中学校の部活動を行うことができるよう措置し、教育環境のさらなる充実を図った。							実績値	旧綾織小学校グラウンド整備工事		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
5,800,000		5,232,590								5,232,590	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事業名		綾織小学校改築整備事業費（事故繰越）								単位：円	
事業内容	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、綾織小学校旧校舍解体工事に係る産業廃棄物を処分するための燃料の調達が困難になったため、平成22年度から事業を繰り越す。								計画値	旧校舍解体工事	
	成果	旧校舍解体工事が平成23年4月22日に完了し、校舎改築と併せ、綾織小学校の教育環境の一体的な整備を図ることができた。 ・旧校舍解体工事 23,690,100円 うち平成22年度支払額 18,160,000円 平成23年度支払額 5,530,100円								実績値	旧校舍解体工事
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
5,531,000		5,530,100								5,530,100	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事業名		綾織小学校外構等整備事業費（事故繰越）								単位：円	
事業内容	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、綾織小学校外構工事に係る燃料及び資材の調達が困難になったため、平成22年度から事業を繰り越す。								計画値	外構工事	
	成果	外構工事が平成23年5月13日に完成し、校舎改築と併せ、綾織小学校の教育環境の一体的な整備を図ることができた。 ・外構工事 23,179,800円 うち平成22年度支払額 14,400,000円 平成23年度支払額 8,779,800円								実績値	外構工事
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
8,780,000		8,779,800								8,779,800	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事業名		遠野北小学校大規模改造等事業費								単位：円	
事業内容	老朽化した遠野北小学校の校舎の大規模改造、屋内運動場及びプールの改築、多目的教室棟の増築等を行い、教育環境の一体的な整備を進める。 ・平成18年度 校舎耐震診断、屋内運動場耐力度調査 ・平成19年度 校舎大規模改造実施設計 ・平成20年度 校舎大規模改造工事 屋内運動場改築実施設計、地質調査 ・平成21年度 校舎大規模改造工事 屋内運動場改築工事、渡り廊下建設工事 プール改築実施設計、改築工事 ・平成22年度 旧屋内運動場解体工事 多目的教室棟増築実施設計、増築工事 屋外環境整備実施設計、整備工事 外構工事、クラブハウス建築工事 ・平成23年度 職員室・給食搬入口等整備工事、薬研沼移設工事								計画値	・職員室・給食搬入口等整備工事 ・薬研沼移設工事	
	成果	事業計画に基づき、ピオトープ（薬研沼）の移設工事及び職員室・給食搬入口等整備工事を実施し、遠野北小学校の教育環境の一体的な整備が完了した。 ・職員室・給食搬入口等整備実施設計業務委託料 840,000円 ・職員室・給食搬入口等整備工事監理業務委託料 840,000円 ・薬研沼移設工事 平成23年11月30日完成 840,000円 ・職員室・給食搬入口等整備工事 平成24年3月25日完成 31,466,400円								実績値	・職員室・給食搬入口等整備工事 ・薬研沼移設工事
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
34,000,000		33,986,400								33,986,400	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事 業 名		プールの改修事業費								単位：円	
事業内容	老朽化したプールの改修及びろ過器の計画的な更新により、プールの適切な維持管理に資する。								計画値	宮守小学校 ろ過器更新	
	成果	宮守小学校プールのろ過器の更新、更衣室の改修等を実施し、プール設備の適切な維持管理を図ることができた。 ・ろ過器更新工事 5,670,000円 ・更衣室改修工事 357,000円 ・機械室床補修工事 30,450円								実績値	宮守小学校 ろ過器更新 更衣室改修 機械室床補修
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
6,088,000		6,057,450								6,057,450	

10 款		教 育 費		2 項		小 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事 業 名		遠野小学校屋内運動場改築整備事業費（繰越明許費）								単位：円	
事業内容	耐震性が不足している遠野小学校屋内運動場を改築し、安心安全な施設環境を整備する。 ・平成23年度 地質調査、基本設計（平成22年度繰越分） ・平成24年度 実施設計、改築工事（平成23年度繰越分）								計画値	・地質調査 ・基本設計	
	成果	地質調査及び改築基本設計を実施した。 ・地質調査業務委託料 1,576,050円 ・基本設計業務委託料 4,725,000円								実績値	・地質調査 ・基本設計
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
9,500,000		6,301,050								6,301,050	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		1 目		学 校 管 理 費	
事 業 名		中学校管理費								単位：円	
事業内容	市内中学校の運営に要する一般維持管理費用。								計画値	中学校 8校 学級数 39学級 生徒数 767人	
	成果	適正な予算執行のもと、市立中学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 43,786,955円 ・役務費 4,810,068円 ・委託料 8,607,522円 ・使用料及び賃借料 3,004,425円 等								実績値	中学校 8校 学級数 39学級 生徒数 767人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
65,928,000		61,739,124						3,097		61,736,027	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		1 目		学 校 管 理 費	
事 業 名		学校保健管理費（中学校）								単位：円	
事業内容	生徒及び教職員の健康診断、衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育に関する活動を円滑に行う。						計画値	生徒数 767人		教職員数 96人	
	生徒及び教職員の健康の保持増進及び疾病の予防に努め、健康教育の推進を図った。 (健康診断等実施項目) 内科・眼科・歯科健診(全生徒)、耳鼻科健診(1年)、貧血検査(1・2年)、心臓検診(1年)、生活習慣病予防検診(1年)、脊柱側弯検診(1年)、尿検査(全生徒)、教職員健診(全教職員)、教職員胃検診(35歳以上)							実績値	生徒数 767人		教職員数 88人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
6,404,000		5,790,879		10,000						5,780,879	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		通学対策費（中学校）								単位：円	
事業内容	遠距離から通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 ・宮守中学校に通学する旧達曽部中学校学区及び旧鱒沢中学校学区の生徒を対象に、スクールバスを運行する。 ・遠距離(6km以上)から通学する生徒を対象に、通学費の助成を行う。 ・教育課程における生徒移動のためのスクールバスを運行する。						計画値	・スクールバスの運行(3台)		・遠距離通学費補助 全対象生徒 22人	
	遠距離から通学する生徒のため、スクールバスを運行し、通学の負担の軽減を図った。また、遠距離から通学する生徒に対し通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ・宮守中学校スクールバス運行委託料 4,536,000円 ・スクールバス特別運行委託料 1,146,600円 ・遠距離通学費補助金 200,000円 ・車両管理費用 1,833,757円							実績値	・スクールバスの運行(3台)		・遠距離通学費補助 全支給生徒 25人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
7,928,000		7,716,357								7,716,357	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		教材整備費（中学校）								単位：円	
事業内容	各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。						計画値	・教材備品購入		・図書購入	
	各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。教材においては、学習指導要領の改訂による平成24年度からの武道の必修化に対応するため、柔道用マットを整備した。 また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。 ・教材備品購入費 8,155,101円(うち柔道用マット4,179,000円) ・図書購入費 2,872,725円 ・パーソナルコンピュータ借上料 10,673,580円 等							実績値	・パーソナルコンピュータ借上げ 235台		・教材備品購入 93件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
30,335,000		29,708,204						50,000		29,658,204	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		教材整備費（繰越明許費）（中学校）								単位：円	
事業内容	学校図書充実を図るため、岩手県教育委員会推薦の「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」を中心に、「住民生活に光をそそぐ交付金」により、各中学校の図書を整備する。						計画値	整備校 中学校 8校			
	「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用した学校図書の整備により、各校における生徒一人当たりの蔵書数が増加し、中学校における読書活動のさらなる充実を図ることができた。							実績値	整備校 中学校 8校 整備図書数 932冊		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
2,250,000		2,249,216		2,249,216							

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		就学援助費（中学校）								単位：円	
事業内容	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。						計画値	生徒数 94人			
	就学困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。							実績値	支給生徒数 101人		
成果	学用品費 93人 1,965,658円 通学用品費 61人 130,201円 新入学用品費 30人 687,000円 校外活動費 93人 214,990円 修学旅行費 35人 2,599,320円 通学費 7人 49,333円 学校給食費 93人 4,557,827円 学校病医療費 26人 271,192円 学校病医療通院費 10人 12,720円										
	予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳						
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
11,034,000		10,488,241		406,000						10,082,241	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事 業 名		特別支援教育関係費（中学校）								単位：円	
事業内容	特別支援学級の活動に対する支援を行う。						計画値	特別支援学級 対象校 3校 5学級 対象生徒 11人			
	特別支援学級を開設する中学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。							実績値	特別支援学級 対象校 3校 5学級 対象生徒 11人		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
313,000		232,937								232,937	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育就学奨励費（中学校）								単位：円	
事業内容	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。								計画値	生徒数 9人	
	成果	特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 6人 150,450円 学用品費 6人 65,100円 新入学用品費 4人 68,700円 校外活動費 6人 6,540円								実績値	支給生徒数 6人
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
514,000		290,790		96,000						194,790	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		理科教育設備整備事業費（中学校）								単位：円	
事業内容	学習指導要領が改訂され、平成24年度からの理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことから、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、中学校における理科教育の推進を図る。 ・平成21年度 全中学校 ・平成22年度 全中学校 ・平成23年度 遠野中学校、青笹中学校、宮守中学校								計画値	平成23年度整備 遠野中学校 青笹中学校 宮守中学校	
	成果	遠野中学校、青笹中学校及び宮守中学校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図ることができた。								実績値	教材備品整備品目数 遠野中 6品目 青笹中 8品目 宮守中 10品目
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
1,000,000		994,620		475,000						519,620	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		体育・文化行事奨励費（中学校）								単位：円	
事業内容	中学校体育連盟に対して事業補助を行うとともに、県大会、東北大会及び全国大会への選手派遣についての助成を行う。 中学校文化連盟に対する事業補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。								計画値	事業補助団体 2団体	
	成果	中学校体育連盟が主催する地区大会の開催に係る支援を行った。また、各競技での県大会及び東北大会出場校及び選手の交通費、宿泊費等の補助を行うことで、中学生の部活動に対する支援を行うことができた。 また、中学校文化連盟に対し、市中学校総合文化祭開催等のための支援を行った。								実績値	事業補助団体 2団体
予算額		決算額		財 源		内 訳					
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,842,000		3,209,000								3,209,000	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		教育研究指定校費（中学校）			単位：円
事業内容	附馬牛中学校を「言語活動の充実」の研究指定校とする。			計画値	研究指定校 1校
成果	附馬牛中学校は、研究指定2年目として学校公開を行い、その成果を市内のみならず多くの学校に還元することができた。			実績値	研究指定校 1校
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
210,000	166,710				166,710

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費
事業名		遠野中学校改築整備事業費			単位：円
事業内容	<p>老朽化した遠野中学校校舎の建替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度 基本設計、実施設計、地質調査（平成22年度繰越分） 平成23年度 校舎等解体工事、校舎改築工事（第1期）、用地購入 平成24年度 校舎改築工事（第1期）、外構工事（第1期） 平成25年度 校舎改築工事（第2期）、旧校舎解体工事（第1期） 平成26年度 校舎改築工事（第2期）、旧校舎解体工事（第2期） 平成27年度 屋内運動場改修工事、外構工事（第2期） <p>新校舎の概要 第1期改築工事（平成23年12月から平成25年2月まで） 木造2階建、鉄筋コンクリート造2階建・3階建 4,676.38㎡ 第2期改築工事（平成25年10月から平成26年6月まで） 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 998.04㎡ 合計 5,674.42㎡</p>			計画値	<ul style="list-style-type: none"> 校舎等解体工事 校舎改築工事 用地購入
成果	<p>校舎改築工事（第1期）を行うに当たり、整備の支障となる旧屋内運動場、格技場及び校舎の一部を解体するとともに、平成23年12月12日に改築工事に着手、地盤改良工事を完了し、基礎工事を進めた（進捗率12%）。また、スクールバスのロータリースペース、通学路、狭小になる校庭の解消等に対応するため、校舎西側の用地2,900.41㎡を購入した。なお、国庫支出金の前倒しに伴い、平成24年2月補正で予算措置した平成24年度分校舎改築工事等に係る1,118,500,000円を平成24年度に繰り越した。</p>			実績値	<ul style="list-style-type: none"> 校舎等解体工事 校舎改築工事 用地購入
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,346,870,000	227,875,492	79,087,000	146,000,000		2,788,492

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費
事業名		遠野中学校改築整備事業費（繰越明許費）			単位：円
事業内容	<p>老朽化した遠野中学校校舎の建替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度 基本設計、実施設計、地質調査（平成22年度繰越分） 平成23年度 校舎等解体工事、校舎改築工事（第1期）、用地購入 平成24年度 校舎改築工事（第1期）、外構工事（第1期） 平成25年度 校舎改築工事（第2期）、旧校舎解体工事（第1期） 平成26年度 校舎改築工事（第2期）、旧校舎解体工事（第2期） 平成27年度 屋内運動場改修工事、外構工事（第2期） 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計 実施設計 地質調査
成果	<p>遠野中学校の改築を行うに当たり、設計及び各種測量を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計及び実施設計業務委託料（地質調査含む）53,550,000円 改築予定地測量業務委託料等 1,102,500円 			実績値	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計 実施設計 地質調査 土地測量業務
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
60,000,000	54,652,500	42,000,000			12,652,500

10 款		教 育 費		4 項		幼 稚 園 費		1 目		幼 稚 園 費	
事 業 名		幼稚園運営事業費								単位：円	
事業内容	小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度等の基礎を培う教育を行う。								計画値	市立幼稚園数 3 箇所 開園延日数 696日 年度当初就園決定 延児童数 384人	
	成果	幼児それぞれの興味や関心に応じ、遊びなどへの直接的・具体的な体験を通して、学ぶことの楽しさを知ることや積極的にものごとに関わりうとする気持ちを持つように指導することで、幼児の生活や学習の基礎を培うことができた。								実績値	市立幼稚園数 3 箇所 開園延日数 692日 就園延児童数 394人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
4,189,000		4,122,268						3,841,340		280,928	

10 款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		1 目		社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		社会教育一般事務費								単位：円	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育事業の運営に係る一般事務を行う。 ・岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付する。 ・加盟団体（全国生涯学習市町村協議会及び岩手県社会教育連絡協議会）に対する負担金 								計画値	補助金・負担金 3 件	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育事業に関する一般事務を行い、円滑な運営を図った。 ・岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取組を支援した。 								実績値	補助金・負担金 3 件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
8,015,000		7,883,474								7,883,474	

10 款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		1 目		社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		生涯学習のまちづくり推進費								単位：円	
事業内容	市民の生涯学習を支援するため、市民センター及び地区センターにおいて生涯学習講座を実施する。 実施に当たっては、広報遠野「学びのいずみ」やホームページにより周知を図る。 また、市民との協働企画による講座「マナビィ・クラブ」を実施し、より市民ニーズに沿った講座等を提供する。								計画値	受講者数 4,730人	
	成果	市民センター及び各地区センターにおいて、パソコン、手芸、料理等の手づくり講座、遠野遺産めぐり、スポーツ教室など、市民のニーズの把握に努め、生涯学習講座を開催した。 また、自主企画による講座「マナビィ・クラブ」では、絵画、陶芸、パッチワークの講座を開催した。 市民ニーズの把握に努めたことにより、生涯学習講座を継続的に受講する市民が増えたほか、学習活動を通じて受講者の交流が図られた。								実績値	受講者数 5,062人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
1,642,000		1,316,045						206,363		1,109,682	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		青少年活動サポート事業費			単位：円
事業内容	<p>下記の事業を柱として活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式「はたちのつどい」 ・少年少女囲碁・将棋教室 ・各種団体への補助及び補助金交付 (遠野わらすっこまつり実行委員会、遠野市青年団体協議会) 			計画値	<p>成人式対象者 市内 260人 市外 50人 合計 310人</p> <p>囲碁・将棋教室 囲碁の部 20人 将棋の部 20人 合計 40人</p>
成果	<p>「成人式(はたちのつどい)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員が自分たちで考えたイベントを行うことにより、記念となったほか、行政がサポート役となることで「市民協働」での成人式を行うことができた。 ・成人者270人(参加率75.2%)、来賓72人、一般340人、職員・青年会35人...総計717人 <p>「少年少女囲碁・将棋教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人囲碁クラブの方々や将棋協会の方々を指導者として、年間活動計画6回を計画どおり実施することができた。 ・プロ棋士を招いての親子将棋教室を行い、参加者の将棋への意欲を高めた。 <p>「各種団体への補助及び補助金交付」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野わらすっこまつりは、児童館等の関係機関で実行委員会を結成して開催した。 ・柏木平リバーサイドまつり、全国スポーツ流鏝馬競技大会との同時開催により、大人の興味を引くことと子どもが楽しめる場所ができたことで、うまく相乗効果を図ることができた。 			実績値	<p>成人式参加者 270人 (参加率75.2%)</p> <p>囲碁・将棋教室 囲碁の部 11人 将棋の部 21人 合計 32人</p>
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,152,000	1,006,675			240,000	766,675

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		と・お・のいきいき参画プラン推進事業費			単位：円
事業内容	<p>個人の人権が尊重され、男女が性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について、市民への意識啓発を行う。</p>			計画値	事業補助団体 1 団体
成果	<p>「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」についての意識啓発を図る活動を実施した。</p>			実績値	事業補助団体 1 団体
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
153,000	148,000				148,000

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円
事業内容	<p>1 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。</p> <p>2 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。</p> <p>3 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。</p> <p>4 演劇や演奏会等を開催するなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。</p>			計画値	<p>芸術文化協会加盟団体の自主事業数 12回</p> <p>市民協働の自主事業の参加者数 1,890人</p> <p>市民協働の自主事業の鑑賞者数 8,000人</p> <p>市民センター自主事業の公演数 3回</p>	
	成果	<p>1 遠野市芸術文化協会加盟11団体が自主事業として発表会を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した。</p> <p>(1) 第6回遠野市民芸術祭 10月16日(日) 合同茶会 鑑賞者217人、参加者31人 11月5日(土)～6日(日) ・舞台合同発表会 鑑賞者720人、参加者378人(28団体) ・総合展示会、菊花展 鑑賞者1,328人、参加者404人(22団体5個人) 菊花展は11月5日(土)～7日(月)。</p> <p>(2) 遠野市芸術文化協会等主催事業 ・大ホール5団体 鑑賞者1,940人、参加者470人 ・みやもりホール4団体 鑑賞者580人、参加者130人 ・あえりあ遠野交流ホール1団体 鑑賞者100人、参加者30人 ・蔵の道ギャラリー1団体 鑑賞者100人、参加者50人</p> <p>2 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努めた。 第37回市民の舞台遠野物語ファンタジー「お父恋し吹雪の夜」を平成24年2月23日(土)、24日(日)の3回公演で、遠野市民センター大ホールで開催した。 ・鑑賞者 1,915人 ・参加者347人がスタッフ、キャスト、音楽(合唱、吹奏楽)として、子どもから高齢者まで幅広い年代の人たちが参加し、力を合わせて舞台をつくりあげた。</p> <p>3 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。</p> <p>(1) 遠野市民センターバレエスタジオ ・毎週金曜日・土曜日の通常レッスン ・第34回発表会を11月20日(日)に開催した。 会場：市民センター大ホール 鑑賞者506人、参加者113人</p> <p>(2) 遠野少年少女合唱隊 ・毎週土曜日の通常レッスン ・第22回発表会を11月12日(土)に開催した。 会場：市民センター中ホール 鑑賞者104人、参加者74人</p> <p>1 上記の鑑賞者を合計した数が「市民協働の自主事業の鑑賞者数 7,508人」。</p> <p>2 上記の参加者を合計した数が「市民協働の自主事業の参加者数 2,027人」。</p> <p>4 演劇や演奏会等を開催し、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めた。</p> <p>(1) 市民企画音楽会「音工房コンサート～ふるさとの旋律～」 6月19日(日)、市民センター大ホール、鑑賞者674人</p> <p>(2) 東西落語名人二人会「桂雀三郎&春風亭昇太」 7月28日(木)、みやもりホール、鑑賞者221人</p> <p>(3) 遠野市民センター開館40周年記念事業「ゲゲゲの女房」公演 10月10日(月)、市民センター大ホール、鑑賞者441人</p>			実績値	<p>芸術文化協会加盟団体の自主事業数 11回</p> <p>市民協働の自主事業の参加者数 2,027人</p> <p>市民協働の自主事業の鑑賞者数 7,508人</p> <p>市民センター自主事業の公演数 3回</p>
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
21,773,000	19,936,455			15,724,500	4,211,955	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名					都市交流推進事業費	単位：円
事業内容	1 武蔵野市との児童交流により、それぞれの地域の特性を活かした体験による人づくりとまちづくりを進める。 2 イタリア・サレルノ市との姉妹都市交流により、人、文化の交流から市民の国際理解と国際協力思想の高揚を図る。			計画値	武蔵野市児童交流受入 武蔵野市小学生 20人 武蔵野市職員 4人 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭 遠野賞贈呈 姉妹都市への市民派遣 遠敷 30人	
成果	1 武蔵野市との児童交流 受入れと派遣事業とを隔年で実施している。平成23年度は武蔵野市の児童が来遠し、相互の地域性の違いや生活上の共通点を理解し、体験活動を通じて交流を深めた。 2 イタリア・サレルノ市との姉妹都市交流 ・サレルノ国際映画祭に遠野賞（切り絵）を贈呈した。 ・外務省との共催事業として「地方の魅力発信プロジェクト」事業を実施し、マルセイユ（フランス）、ローマ及びサレルノ（イタリア）においてしし踊り公演を行った。 ・ローマにおいては、イタリア共和国大統領が出席した日本国大使館の東日本大震災復興祈念行事の中で公演を行った。 ・サレルノ市では、市役所での歓迎行事において公演を行ったほか、遠野市の観光資源をピーアールするDVDを配布し、遠野の文化を世界に発信することができた。			実績値	武蔵野市児童交流受入 小学生 20人 市職員 4人 遠野市小学生 10人 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭 遠野賞（切り絵）贈呈 姉妹都市への市民派遣 遠敷 16人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
6,304,000	6,226,791			5,662,060	564,731	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名					少年少女ふるさと発見探偵団育成事業費	単位：円
事業内容	市内の異なる地域に住む子どもたち（小学4年生～6年生）が、郷土の自然や歴史を楽しむながら、共に様々な体験活動を行うことにより、集団の中でお互いに協調し、充実した人間関係を築き、社会の規範を守ることができる子どもの育成を図るため、年6回の活動を行う。 また、体験活動の中で子どもたちに危険が生じないよう見守りを行ったり、子どもたちの相談に応じたりするボランティアの子どもサポーターを高校生や大学生から募集し、サポーターが自ら指導者としての学習を行い、新しい時代を担うリーダーとしての資質の向上を図る。			計画値	活動回数 6回 登録団員 60人 延べ参加団員数 360人	
成果	1 ふるさと発見探偵団は64人が団員登録し、年間を通して6回の活動を行った。参加団員の延べ人数は280人（保護者参加は延べ26人）であった。 2 子どもサポーターは、一般及び市内高校から募集し、24人が登録した。ふるさと発見探偵団の活動や遠野わらすっこまつりに協力をいただいた。			実績値	活動回数 6回 登録団員 64人 延べ参加団員数 280人 サポーター 登録者数 24人 延べ参加者数58人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
438,000	275,913			236,452	39,461	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名					放課後子どもプラン推進事業費	単位：円
事業内容	児童館（児童クラブ）・学校・地域と連携して放課後子ども教室を開催し、安全な放課後の居場所づくりとともに、子どもたちの自主学習の習慣化を図る。			計画値	放課後子ども教室 11教室 （全小学校区）	
成果	全11小学校区で放課後子ども教室を開催（1教室当たり54日）し、学習アドバイザー、安全管理員を派遣した。 全小学校区で3年間実施しているが、学力向上の面から効果的であるという意見がある一方、放課後には十分遊び、帰宅後に学習するという形を身に付けさせたいという意見や、児童数が少ない学校では、児童が放課後に全員で取り組む教育活動が多いなどの意見が出てきている。 このことから、各地区の現状を考慮し、実施内容について見直しを図っていく。			実績値	放課後子ども教室 11教室 （全小学校区） 延べ11,943人参加	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,072,000	3,021,593	2,013,000			1,008,593	

10 款 教 育 費		5 項 社 会 教 育 費		2 目 公 民 館 費		
事 業 名		公民館一般管理費				単位：円
事業内容	公民館施設を適切に維持管理し、地域における生涯学習の拠点として、地域住民が集い、安全かつ快適に地域づくり活動や学習活動を行うことができる環境をつくる。				計 画 値	H23公民館使用料 計画 1,200,000円 平成22年度実績 利用件数 4,074件 利用人数 93,856人
	維持管理に必要な保守点検等を実施し、市民の快適な利用に寄与した。					実績値
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
63,722,000		39,680,147				809,817
						一般財源 38,870,330

10 款 教 育 費		5 項 社 会 教 育 費		2 目 公 民 館 費		
事 業 名		公民館一般管理費（繰越明許費）				単位：円
事業内容	平成22年8月に提出された「建物基本診断結果報告書」を踏まえ、危険建物として立入禁止の措置を行っている宮守総合センターの解体を実施する。				計 画 値	解体工事 1件
	宮守総合センターの解体工事等を実施した。 ・宮守総合センター解体設計業務委託料 787,500円 ・宮守総合センター解体工事 44,623,950円					実績値
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
86,444,000		45,411,450				45,411,450
						一般財源

10 款 教 育 費		5 項 社 会 教 育 費		2 目 公 民 館 費		
事 業 名		文化交流施設管理費				単位：円
事業内容	生涯学習の場、交流の場としてのサービスの向上を図る。 また、民間活力を活かすため、指定管理者による管理を行い、効果的・効率的な管理運営を行う。				計 画 値	(平成22年度実績) 利用者数 17,517人 (内訳) ホール 6,344人 会議室等 10,345人 展示室 828人
	市民の憩いの場、各種団体の交流の場として積極的に活用された。 指定管理者の能力を活用することにより、市民が快適に施設を利用することができた。 (主なホールの新規利用) 音楽教室発表会 4件 620人 沿岸被災地からの利用 4件 318人 復興支援関連事業 3件 515人 (会議室の新規利用) 健康増進ネットワーク 各週月曜日 35回 700人 ほか7件					実績値
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
18,412,000		16,942,672				16,942,672
						一般財源

10 款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		5 目		文化財調査保護費	
事業名		文化財調査保護費								単位：円	
事業内容	本市の貴重な文化財の掘り起こしと調査を重ね、遠野市指定文化財の指定等を行い、先人の残した財産を後世に継承する。 郷土芸能の保存伝承を図るため、映像等の記録及び保存に努めるとともに、備品購入に要する経費の一部を補助する等の支援を行う。						計画値	文化財保護審議会 2回 民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能団体への補助 6件			
	成果	「十月仏」7幅を遠野市指定文化財に指定したほか、国指定重要文化財の「旧菊池家住宅」の修繕を行うなど、文化財の保護に努めた。 また、郷土芸能団体6団体の備品購入に要する経費の一部を補助するとともに、神楽共演会の映像を記録するなど、郷土芸能の継承と支援に努めた。						実績値	文化財保護審議会 2回 民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能団体への補助 6件		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
2,423,000		1,519,804						17,894		1,501,910	

10 款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		5 目		文化財調査保護費	
事業名		埋蔵文化財発掘調査費								単位：円	
事業内容	文化財保護法に基づき、市内に約500箇所確認されている埋蔵文化財包蔵地及び新規に発見される埋蔵文化財包蔵地やその隣接地で行われる開発事業に先立ち、分布調査、試掘調査、工事立会い、本発掘調査を行う。 調査で得られた出土資料を整理し、発掘調査報告書を刊行する。 出土資料は必要に応じて公開し、郷土学習や調査研究資料として活用する。						計画値	埋蔵文化財包蔵地該当の有無の照会対応 46件 試掘調査 10件 鍋倉城跡発掘調査報告書刊行 300部			
	成果	鍋倉城二の丸跡発掘調査報告書及び鍋倉城本丸跡発掘調査報告書の刊行、金取遺跡発掘調査報告書の再版を行い、発掘調査で得られた資料を公開することができた。 また、市営住宅建設に伴う浜峠 遺跡の緊急発掘調査を実施し、一部失われる遺跡を記録保存することができた。さらに、開発事業地の埋蔵文化財有無の照会対応、各種開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地及び隣接地の試掘調査、工事立会いを行い、開発事業との調整を円滑に進め、埋蔵文化財を保護することができた。						実績値	埋蔵文化財包蔵地該当の有無の照会対応 71件 試掘調査 13件 鍋倉城跡発掘調査報告書刊行 300部		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
5,925,000		5,465,504								5,465,504	

10 款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 総 務 費		5 目		文化財調査保護費	
事業名		文化的景観保存事業費								単位：円	
事業内容	柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた本市独特の景観を将来に残していくため、国の重要文化的景観選定に向け調査を実施する。						計画値	各調査 一式 委員会 3回 ワークショップ 6回 地域説明会 2回			
	成果	『遠野物語』発祥ゆかりの地であり、里山的な景観が保存されている土淵町山口集落の重要文化的景観への追加選定に向け、各種調査（民俗、建築、動物等）を実施した。 また、山口集落の景観を守るため、地域と協議を重ね、地域の自主性を尊重したガイドラインを策定することができた。						実績値	各調査 一式 委員会 3回 ワークショップ 6回 地域説明会 3回		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
7,659,000		7,459,075		3,686,000						3,773,075	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費
事業名		千葉家重要文化財指定整備活用事業費			単位：円
事業内容	国指定重要文化財「千葉家住宅」を保全するため、公有化に向けて測量及び補償評価調査を行う。			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・測量 一式 ・国指定建物等 6 棟 ・国指定土地 5 筆 ・指定外建物等一式 ・指定外土地13筆 ・その他一式
成果	国指定文化財建物及び指定外建物並びに指定土地等の用地について、評価調査及び測量を行った。 なお、東日本大震災による石垣復旧工事の補助金（2,089,000円）は、冬期工事を避けるため、翌年度に繰り越した。 測量...現地測量2.8ha、用地測量1.54ha、復元測量7.5ha 評価調査 <ul style="list-style-type: none"> ・国指定建物等... 6 棟（主屋・大工小屋・土蔵・石蔵・稲荷社・八世小屋） ・国指定土地... 5 筆（宅地ほか） ・指定外建物等... 6 棟（納屋、案内所、店舗ほか） ・指定外土地...13筆（宅地、林地ほか） ・その他一式...附帯工作物ほか 			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・測量 一式 ・国指定建物等 6 棟 ・国指定土地 5 筆 ・指定外建物等一式 ・指定外土地13筆 ・その他一式
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
25,668,800		23,179,080		その他	一般財源
					23,179,080

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保健体育総務費
事業名		スポーツ健康一般事務費			単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康課一般事務費 ・遠野市スポーツ推進委員活動 ・学校開放事業 ・全国市長会損害賠償補償保険 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業の実施 ・全国市長会損害賠償補償保険加入 ・スポーツ推進委員定例会 6 回
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業を実施し、学校体育施設を市民のスポーツ活動のため開放した。 ・全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険に加入した。 ・遠野市スポーツ推進委員定例会を 6 回開催した。 			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業実施（市内小・中学校） ・全国市長会損害賠償補償保険全市民加入 ・スポーツ推進委員定例会 6 回
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
3,961,000		3,362,089		その他	一般財源
				566,363	2,795,726

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保健体育総務費
事業名		競技・イベントスポーツプログラム推進事業費			単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興及び普及に関する活動 ・各種スポーツ教室、子ども教室の開催及び支援 ・各種スポーツイベントの開催及び支援 ・町民運動会開催に対する支援 ・遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部に対する補助金の交付 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・事業補助 2 団体 ・各種教室の開催
成果	各種スポーツ教室やスポーツイベントの開催及び支援を行い、スポーツの振興と普及に寄与した。 遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部に対して補助金を交付し、各団体の活動の活性化に寄与した。			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・事業補助 2 団体 ・各種教室の開催
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
10,223,000		10,216,440		その他	一般財源
					10,216,440

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
事業名		ジュニアレベルアッププログラム推進事業費			単位：円
事業内容	<p>遠野市の競技スポーツ力の向上を図るため、競技種目ごとにジュニアスポーツクラブを育成・支援する。 また、クラブの連合による競技型のスポーツクラブとして、育成・支援、一貫指導システムの構築を推進する。</p>			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・事業補助 2団体 ・スポーツアドバイザー 招へい 2回
成果	<p>1 市内サッカースポーツ少年団、中学校、高校サッカー部を対象にトップレベルの指導者を招へいし、年間を通してサッカー教室を開催し、競技力向上を図った。 ・ヴァレンテとおのサッカースポーツ少年団 全日本少年サッカー大会岩手県大会優勝（全国大会出場）</p> <p>2 各種スポーツ指導者及び選手を対象に、ジュニアスポーツの冬期間の基礎体力及び技術の向上を目指し、トレーニング方法や健康管理のしかた等の講習会を実施した。</p> <p>3 市内スポーツ指導者及び競技者を対象にコーディネーショントレーニングの講習会を実施し、子どもたちの運動能力の向上を図るための基本的な体の使い方や指導方法を学ぶことができた。</p>			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・事業補助 2団体 ・スポーツアドバイザー 招へい 1回
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,600,000	1,848,160				1,848,160

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
事業名		岩手国体施設整備調査事業費			単位：円
事業内容	<p>平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会サッカー競技（少年の部）に係る市準備委員会の開催及び先開催県の視察を行うとともに、競技施設整備に係る基本計画を策定する。</p>			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会会議 6回 ・先開催県の視察 ・競技施設の整備に係る基本計画の策定
成果	<p>東日本大震災の発生により、岩手県では平成23年6月に予定していた日本体育協会への国体開催申請の見送りを決定（平成23年4月22日）したことに伴い、本市においても、平成23年度に予定していた計画策定を見直すこととした。</p>			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会会議 開催中止 ・先開催県の視察 中止 ・競技施設の整備に係る基本計画の策定中止
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
197,000	10,000				10,000

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	2 目	学 校 給 食 費
事業名		学校給食事業費			単位：円
事業内容	<p>学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスの取れた食事を提供し健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成などを目標としている。目標達成のために、「地産地消」及び「食育」の推進、学校訪問及び栄養指導、衛生管理に取組んだ。 ・年間の給食実施回数：小学校 170回、中学校 168回 ・給食供給人数：2,475人</p>			計画値	<p>年間供給食数 418,926食 米飯日数 小 130回 中 129回 パン日数 小 40回 中 39回 学校給食食材に占める 地場産物使用割合 65%</p>
成果	<p>年間を通して遠野産の食材を積極的に利用し、学校給食の地産地消率の向上に努めた。また、「遠野旬を食べよう給食」を年6回実施し、郷土の食文化や地域で採れる農産物への理解を深めた。 栄養教諭による栄養指導等（各学年2回、宮守は各学年1回）を行い、食事のマナーや望ましい食習慣などの意識付けを行った。</p>			実績値	<p>年間供給食数 420,763食 米飯日数 小 130回 中 129回 パン日数 小 40回 中 39回 学校給食食材に占める 地場産物使用割合 65.3%</p>
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
263,079,000	262,336,958			114,013,043	148,323,915

10 款		教 育 費		6 項		保 健 体 育 費		3 目		体 育 施 設 費	
事 業 名		体 育 施 設 管 理 費								単 位 : 円	
事業内容	指定管理者制度により、民間活力を生かした体育施設の効果的・効率的な管理運営を行う。 また、市民が安全に体育施設を利用することができるよう、適切に施設の改修工事等を実施する。	計 画 値	施設利用者数 192,512人 改修工事 3件								
			成 果	実 績 値	1 指定管理者により体育施設が効率的に管理され、市民が快適に施設を利用することができた。 また、平成23年度は、東日本大震災の被災地への後方支援基地として、遠野運動公園など市内体育施設を自衛隊等の活動拠点として開放した。 2 体育施設の改修工事を実施した。 ・遠野運動公園野球場芝張替え工事 44,336,250円 ・赤羽根スキー場アンバーリフト駆動部基礎工事 703,500円 ・赤羽根スキー場リフト監視小屋改築工事 4,307,100円 3 体育施設の備品を整備し、利用者の利便性の向上を図った。						
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳									
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源						
174,839,000	139,557,499	44,336,250			95,221,249						

10 款		教 育 費		6 項		保 健 体 育 費		3 目		体 育 施 設 費	
事 業 名		体 育 施 設 管 理 費 (繰 越 明 許 費)								単 位 : 円	
事業内容	・市民プールの給水管系統の老朽化による漏水を止めるため、循環水配管設備の改修工事を実施する。 ・老朽化した備品を更新し、利用者の利便性の向上を図る。	計 画 値	市民プール改修工事 1件 備品購入 6件								
			成 果	実 績 値	1 市民プールの改修工事を実施し、平成23年10月1日に施設の供用を再開した。また、改修工事の間の代替施設として青笹小学校のプールを開放し、市民ニーズに対応した。 ・遠野市民プール循環水配管設備改修工事 6,565,650円 ・市民プール・プールサイド塗装工事 177,350円 2 老朽化した備品を更新し、利用者の利便性を確保した。 更新備品：トレーニングルームテレビ、自動血圧計、テニスネット、自動体外式除細動器、テニス審判台、スポンジドライヤー						
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳									
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源						
8,000,000	7,983,774				7,983,774						

10 款		教 育 費		6 項		保 健 体 育 費		3 目		体 育 施 設 費	
事 業 名		健 康 増 進 体 育 施 設 整 備 事 業 費								単 位 : 円	
事業内容	平成28年度第71回国民体育大会サッカー競技（少年の部）開催に係る会場整備のため、施設整備計画を策定する。	計 画 値	施設整備計画の策定								
			成 果	実 績 値	施設の整備に係る基礎調査として、会場候補地の現況測量を実施した。						
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳									
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源						
10,000,000	1,323,000				1,323,000						

11 款	災 害 復 旧 費	4 項	文 教 施 設 災 害 復 旧 費	1 目	公 立 学 校 施 設 災 害 復 旧 費	
事業名					公立学校施設災害復旧事業費	単位：円
事業内容	平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び4月7日に発生した震度5強の余震により被害を受けた学校施設の災害復旧修繕を行うとともに、遠野中学校煙突の災害応急工事及び校舎の災害復旧工事を行う。			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧修繕 小学校 8校 中学校 5校 ・遠野中学校煙突災害応急工事 ・遠野中学校校舎災害復旧工事 	
成果	学校施設の災害復旧修繕を行うとともに、遠野中学校煙突災害応急工事及び校舎災害復旧工事を実施し、児童生徒の安全確保に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の災害復旧修繕 延べ30件 10,286,745円 ・遠野中学校煙突災害応急工事（国庫補助対象） 平成23年7月4日完成 2,940,000円 ・遠野中学校校舎災害復旧工事（国庫補助対象） 平成23年8月31日完成 2,257,500円 ・災害復旧調査・設計業務委託料 798,000円 ・需用費 142,988円 			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧修繕 小学校 8校 中学校 5校 ・遠野中学校煙突災害応急工事 ・遠野中学校校舎災害復旧工事 	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
16,469,000	16,425,233	6,502,000			9,923,233	

11 款	災 害 復 旧 費	4 項	文 教 施 設 災 害 復 旧 費	1 目	公 立 学 校 施 設 災 害 復 旧 費	
事業名					公立学校施設災害復旧事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けた学校施設の災害復旧修繕を行うとともに、早急に撤去が必要となった遠野中学校塔屋の撤去工事を行う。			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧修繕 小学校11校 中学校8校 ・遠野中学校塔屋撤去工事 	
成果	学校施設の災害復旧修繕及び遠野中学校塔屋撤去工事を実施し、児童生徒の安全確保に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の災害復旧修繕 延べ60件 7,385,280円 ・遠野中学校塔屋撤去工事 平成23年4月4日完成 4,935,000円 なお、遠野中学校塔屋撤去工事請負費については、国庫補助対象事業であることから、歳入は平成23年度当初予算で措置した。			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧修繕 小学校11校 中学校8校 ・遠野中学校塔屋撤去工事 	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
12,386,000	12,320,280				12,320,280	

11 款	災 害 復 旧 費	4 項	文 教 施 設 災 害 復 旧 費	2 目	社 会 教 育 施 設 災 害 復 旧 費	
事業名					社会教育施設災害復旧事業費	単位：円
事業内容	東日本大震災により損壊した市民会館、勤労青少年ホーム、地区センター等の施設の修繕を行い、利用者の安全を確保する。また、市民センター大ホールの冷房系統配管の修繕を行い、来シーズンからの快適な利用に資する。			計画値	修繕 4件 工事 7件	
成果	東日本大震災により損壊した市民会館、勤労青少年ホーム、地区センター等施設の修繕を行い、利用者の安全を確保した。市民センター大ホール冷房系統配管の修繕を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 市民会館等 工事4件 6,785,100円 （うち市民センターボイラー冷却水配管修繕工事 4,399,500円） 勤労青少年ホーム 工事1件 231,000円 地区センター等 修繕4件 485,100円 工事2件 1,446,900円 			実績値	修繕 4件 工事 7件	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
10,052,000	8,948,100				8,948,100	

11 款	災 害 復 旧 費	4 項	文 教 施 設 災 害 復 旧 費	2 目	社 会 教 育 施 設 災 害 復 旧 費	
事業名					社会教育施設災害復旧事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	東日本大震災により損壊した市民会館、地区センター施設の修繕を行い、利用者の安全を確保する。			計画値	修繕 11件	
	成果	東日本大震災により損壊した市民会館、地区センター施設の修繕を行い、利用者の安全を確保した。 ・市民会館等 修繕7件 1,020,978円 （大ホールホワイエガラス、トイレ等壁・床タイル、スプリンクラーアラーム弁、ボイラー蒸気配管、中ホールドア枠等） ・地区センター 修繕4件 371,700円 （上郷地区センター天窓ガラス、小友地区センタートップライト、土淵地区センターブロック壁等）			実績値	修繕 11件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,152,000	1,392,678					1,392,678

11 款	災 害 復 旧 費	4 項	文 教 施 設 災 害 復 旧 費	3 目	保 健 体 育 施 設 災 害 復 旧 費	
事業名					保健体育施設災害復旧事業費	単位：円
事業内容	東日本大震災により損壊した体育施設の修繕を行い、利用者の安全を確保するとともに、給食センター施設の修繕を行い、学校給食事業に支障を来さないよう早期復旧を図る。			計画値	修繕 7件	
	成果	1 東日本大震災により損壊した体育施設の修繕を行い、利用者の安全を確保した。 ・稲荷下屋内運動場人工芝復旧 ・市民体育館ステージ亀裂、劣化部補修工事 ・市民体育館アリーナ壁面亀裂部補修工事 ・市民プール壁面剥離箇所修繕工事 ・市民サッカー場フェンス撤去工事 2 遠野学校給食センター及び宮守学校給食センターの修繕を早期に完了し、給食実施計画のとおり給食を実施することができた。 ・遠野学校給食センターブロック塀修繕 ・宮守学校給食センター壁等修繕			実績値	修繕 7件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
8,309,000	7,262,010					7,262,010

11 款	災 害 復 旧 費	4 項	文 教 施 設 災 害 復 旧 費	3 目	保 健 体 育 施 設 災 害 復 旧 費	
事業名					保健体育施設災害復旧事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	東日本大震災により損壊した体育施設の復旧を行い、利用者の安全を確保するとともに、学校給食センター施設の修繕を行い、学校給食事業に支障を来さないよう早期復旧を図る。			計画値	修繕 3件 工事 1件	
	成果	1 東日本大震災により損壊した体育施設の復旧を行い、利用者の安全を確保した。 ・市民体育館階段室ガラス改修工事 4,835,250円 等 2 学校給食センターの修繕を早期に完了し、給食実施計画のとおり給食を実施することができた。 ・学校給食センター内壁修繕 1,865,420円 ・調理器具等調整・修繕 929,040円			実績値	修繕 3件 工事 1件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
9,118,000	8,152,305					8,152,305